

平成30年度

山形県の社会教育 2018

山形県教育委員会

目 次

I	平成30年度 社会教育の推進・生涯学習の振興	1
II	平成30年度 社会教育・生涯学習 施策体系	2
III	平成30年度 県社会教育関係事業 年間計画	3
IV	平成30年度 社会教育・生涯学習関係 事業計画	5
	1 「いのち」をつなぐ教育の基礎となる家庭教育を支援する	
	（1）教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進	
	（2）豊かな心の育成	
	2 郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する	
	（1）郷土愛を育む教育の推進	
	（2）山形の宝の保存活用・継承	
	3 学校と家庭・地域が協働し支え合う仕組みを構築する	
	（1）学校と家庭・地域との連携協力の推進	
	4 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める	
	（1）青少年の地域力発揮	
	（2）地域の教育力を高める生涯学習環境の充実	
V	平成30年度 県社会教育施設関係事業	17
	（1）山形県立図書館	
	（2）山形県立博物館	
	（3）山形県青年の家	
	（4）山形県朝日少年自然の家	
	（5）山形県金峰少年自然の家（本館）海浜自然の家（分館）	
	（6）山形県飯豊少年自然の家	
	（7）山形県神室少年自然の家	
	（8）山形県生涯学習センター	
VI	平成30年度 山形県社会教育委員名簿	33
VII	統計資料等	34
	（1）山形県社会教育関係団体一覧	
	（2）青少年教育施設一覧	
	（3）山形県内図書館一覧	
	（4）山形県内博物館一覧	
	（5）各市町村社会教育主管課一覧	
	（6）社会教育委員等設置状況	
	（7）社会教育関係団体等の状況	
	（8）社会教育施設等の状況	
	（9）生涯学習推進・学社連携組織等一覧	
	（10）文部科学大臣表彰一覧（過去5ヵ年）	

I 平成30年度 社会教育の推進・生涯学習の振興

第6次山形県教育振興計画

基本目標

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

テーマ

つなぐ
～いのち、学び、地域～

基本方針

- 1 「いのち」を大切にし、生命をつなぐ教育を推進する
- 2 豊かな心と健やかな体を育成する
- 3 社会を生きぬく基盤となる確かな学力を育成する
- 4 変化に対応し、社会で自立できる力を育成する
- 5 特別なニーズに対応した教育を推進する
- 6 魅力にあふれ、安心・元気な学校づくりを推進する
- 7 郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する
- 8 学校と家庭・地域が協働し支え合う仕組みを構築する
- 9 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める
- 10 県民に元気と活力を与えるスポーツを推進する

第5次山形県生涯学習振興計画

目標

一人ひとりの個性が奏であい

輝く山形の未来を拓く生涯学習

～自立、協働、創造～

生涯学習振興の重点

- 1 個人や地域の多様化するニーズを踏まえた
学習機会・学習内容の充実
- 2 地域づくり・絆づくりに係る活動の推進
- 3 持続可能な推進体制整備、人材育成機会の
提供等による市町村への支援

平成30年度の社会教育の推進・生涯学習の振興にあたっては、第6次山形県教育振興計画及び第5次山形県生涯学習振興計画に基づき施策を展開します。

また、「つなぐ～いのち、学び、地域～」のテーマに沿って社会教育の施策を推進していくとともに、「自立、協働、創造」の観点に沿って生涯学習の振興を図っていきます。

今年度は、新たに策定された第5次山形県生涯学習振興計画のスタートの年になります。目標である「一人ひとりの個性が奏であい、輝く山形の未来を拓く生涯学習」の実現に向け、生涯学習振興の中核である社会教育をより一層充実させていきます。

【6教振の基本方針における生涯学習の施策の柱】

1

豊かな心と健やかな体を育成する

- ・家庭の教育力向上のために、子どもの発達に応じた保護者等への学習機会や情報の提供等により、家庭教育支援の充実を図る。
- ・家庭における子どもの生活習慣の改善に向けて、家庭教育を社会全体で支援する環境づくりや気運の醸成に努める。
- ・読育の推進や青少年環境教育を通して、次代を担う世代の豊かな心を育成する。

2

郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する

- ・地域に光を当てた視聴覚教材の掘り起こしや普及を通して、豊かな郷土愛を育む。
- ・地域に伝わる伝統芸能の伝承活動を通して、山形の宝を未来に保存・継承していく。

3

学校と家庭・地域が協働し支え合う仕組みを構築する

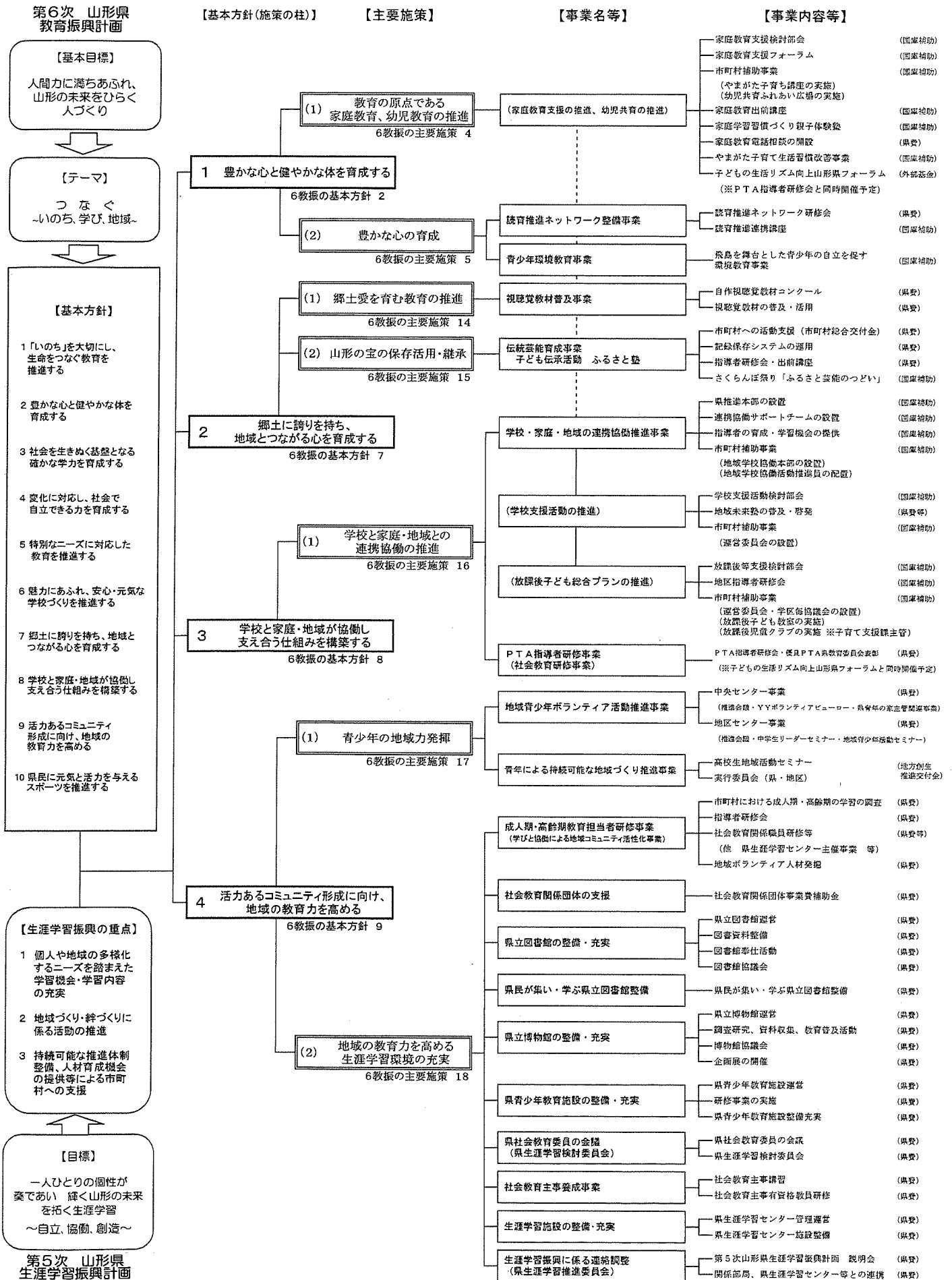
- ・学校と家庭・地域が協働し支え合う仕組みを構築し、子どもたちの社会力を育成する。
- ・学校支援活動や放課後支援活動を、地域と学校の双方向の連携協働で展開する。

4

活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める

- ・社会教育の充実を図るため、社会教育行政に関わる職員の指導力の向上、推進体制の構築、社会教育関係団体の支援を図るとともに、教育事務所と連携して市町村の社会教育行政を、よりきめ細やかに支援する。
- ・社会教育施設が、個人の要望や社会の要請に応える魅力ある生涯学習の拠点施設として、また、青少年教育施設が豊かな感性を育む体験活動の拠点として機能するよう整備・充実に努める。
- ・県生涯学習推進委員会を構成する関係部局等との連携・調整を図りながら、総合的に施策を展開できるように努める。

Ⅱ 平成30年度 社会教育・生涯学習 施策体系



Ⅲ 平成30年度 県社会教育関係事業 年間計画 教育庁文生課

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	日	火	金	日	水	土	1
2	月	水	土	月	木	日	2
3	火	木	日	火	金	月	3
4	水	金	月	水	土	火	4
5	木	土	火	木	日	水	5
6	金	日	水	金	月	木	6
7	土	月	木	土	火	金	7
8	日	火	金	日	水	土	8
9	月	水	土	月	木	日	9
10	火	木	日	火	金	月	10
11	水	金	月	水	土	火	11
12	木	土	火	木	日	水	12
13	金	日	水	金	月	木	13
14	土	月	木	土	火	金	14
15	日	火	金	日	水	土	15
16	月	水	土	月	木	日	16
17	火	木	日	火	金	月	17
18	水	金	月	水	土	火	18
19	木	土	火	木	日	水	19
20	金	日	水	金	月	木	20
21	土	月	木	土	火	金	21
22	日	火	金	日	水	土	22
23	月	水	土	月	木	日	23
24	火	木	日	火	金	月	24
25	水	金	月	水	土	火	25
26	木	土	火	木	日	水	26
27	金	日	水	金	月	木	27
28	土	月	木	土	火	金	28
29	日	火	金	日	水	土	29
30	月	水	土	月	木	日	30
31	火	金	月	火	金	月	31

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	月		木 全国公民館研究集会(東京)	土	火 元旦	金 教育事務所社会教育課長等会議③	金	1
2	火		金 (県PTA教育懇談会)	日	水	土 朝日わくわく広場⑩(朝日) 親子でチャレンジ②(飯豊)	土 朝日わくわく広場⑩(朝日) スノーランドファイナル(飯豊) 雪遊びウィンターファイナル(神室) スノーランドファイナル(飯豊)	2
3	水		土 文化の日 やきいもパーティー(飯豊) 秋の博物館まつり やきいもパーティー(飯豊)	月	木	日 ↓↓	日	3
4	木		日	火	金	月	月	4
5	金		月	水	土	火	火 県地産産物少年ボランティア推進会議②	5
6	土	KAIHINあきフェスタ(海浜)	火 (国社研:社教主専門講座)	木	日	水 青少年教育施設長会議③	水	6
7	日		水	金	月	木	木 (国社研:地域教育力セミナー)	7
8	月	体育の日	木	土 YYボランティアの集い(県青) 朝日わくわく広場⑩(朝日)	火	金 教育事務所社会教育主事会議④	金	8
9	火		金	日 いいでクラブ③(飯豊) 伝統文化ふれあいキャンプ(神室)	水	土 わんぱく自然塾冬の巻(金峰) 親子ふれあいキャンプ②(神室)	土 のまなくセレクション(県立博物館)～5/26	9
10	水		土 やまがた教育の日 子どもの生活リズム向上山形県フォーラム PTA指導者研修	月	木	日 ↓	日	10
11	木		日	火	金	月 建国記念の日	月	11
12	金	山形県社会教育研究大会(米沢)	月	水	土	火	火	12
13	土	YYボランティアの集い(金峰) いいでワイルド&アドベンチャー④(飯豊) 親子の山探訪(神室)	火	木	日	水 青少年教育施設研修担当者会議③	水	13
14	日		水	金	月 成人の日 いいでクラブ④(飯豊) 冬の博物館まつり	木 山形県社会教育委員の会議(185回) 兼 生涯学習検討委員会	木	14
15	月		木	土 KINBOWクラフトフェスタ(金峰) 共同企画展(県立博物館)～2/24	火	金	金	15
16	火	青少年教育施設長会議②	金 社会教育関係職員初任者講座② 大人の研修会(神室)	日	水	土 自作視聴覚教材コンクール表彰式 いいでワイルド&アドベンチャー④(飯豊)	土	16
17	水		土 いいでクラブ②(飯豊)	月	木	木 県社教連理事会② 日 青年による持続可能な地域づくり 推進事業実行委員会②	日	17
18	木		日	火 わいわいカフェ③(県青)	金 自作視聴覚教材コンクール審査会	月	月	18
19	金		月	水	土 朝日わくわく広場⑩(朝日) わんぱく探検隊③(神室)	火	火	19
20	土	朝日わくわく広場⑩(朝日) わんぱく自然塾秋の巻(金峰)	火	木	日 青年の家体験講座③(県青)	水	水	20
21	日	朝日わくわく広場⑩(朝日) 県P研修大会-上山大会	水	金	月 社教主事講習会社研①(～2/27)	木	木 春分の日	21
22	月		木	土	火	金	金	22
23	火	青少年教育施設連絡・研修担当者会議	金 勤労感謝の日	日 天皇誕生日	水	土	土 いいでプレキャンプ(飯豊)	23
24	水	全国・東北社会教育研究大会(海浜)	土 プラナタリウム-館公開(朝日)	月 振替休日	木	日	日	24
25	木		日 プラナタリウム-館公開(朝日)	火	金	月	月	25
26	金		月	水	土 KINBOWゆめフェスタ(金峰) 神室塾③(神室)	火	火	26
27	土	家庭教育支援研修会②(県青) エンジョイ金蔵山登山②(金峰)	火	木	日 神室ウィンターフェスティバル(神室)	水	水	27
28	日	神室フェスティバル(神室)	水	金	月	木	木	28
29	月		木	土	火 学校・家庭・地域の連携協働 推進本部会議	/		29
30	火		金	日	水	/		30
31	水		土	月	木	/		31
		H31全国社会教育研究大会 (兵庫県H31.10.23-25)						

	<p>8 子どもの生活リズム向上山形県フォーラム (県PTA指導者研修会と同時開催) 11月10日(土)・寒河江市中央公民館 ※「平成30年度地域ぐるみで『体験の風をおこそう』運動推進事業」を活用する予定。</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>学校・家庭・地域の 連携協働推進事業 幼児共育の推進 ◇H17年度開始 H22年度事業統合 H28年度事業統合 108,599千円 (国補助、県費)</p>	<p>●目的 「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して、幼児期の子どもを育む『幼児共育』の実践的な活動を推進する。 ●内容 1 幼児共育ふれあい広場【市町村補助事業】 ・幼稚園・保育所：29市町村 166箇所予定 ・人やモノ、自然とのかかわりを通して親子のふれあいを大切にした様々な体験活動 等</p>	<p>市町村</p>

(2) 豊かな心の育成

本県では、「山形県子ども読書活動推進計画(第3次)」に基づき、学校・家庭・地域などが連携し、社会全体で子どもの読書活動に取り組む『読育(どくいく)』を推進していく。子どもが生涯にわたる読書習慣を身につけるためには、親自身が日頃から家庭での読書を心がけるとともに、乳幼児期からの読み聞かせの必要性や効果的な取組み、発達段階に応じた読書の在り方などについて理解を深めることが必要である。

また、人とのかかわりを避け、ひきこもり状態にある青年の増加という新たな課題が生じている。それらの青年を対象とした交流機会の設定や相談体制の充実により、社会参加を支援し他者とのかかわる力の向上を図る。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>読育推進ネットワーク整備事業 ◇H26年度開始 328千円 (国補助、県費)</p>	<p>●目的 子どもの健全な心身の発達を促し、本好きな子どもを育むために、乳幼児期からの絵本の読み聞かせの普及・啓発を図り、家庭における「読育(どくいく)」を推進する。 ●内容 1 読育推進ネットワーク研修会(県内4地区) ・乳幼児健診等における絵本の読み聞かせの普及・啓発 ・乳幼児の親子が絵本に親しむ機会を充実させる取組み 2 読育推進連携講座(県内4地区) ・自然体験等と読み聞かせを組み合わせた魅力的な読み聞かせ講座の提供 ・読み聞かせボランティアサークルや市町村との連携による企画、運営</p>	<p>教育事務所 教育事務所</p>
<p>青少年環境教育事業 (飛島を舞台とした青少年の自立を促す環境教育事業)</p>	<p>●目的 フリースクール等に通う中学生や高校生等を対象とし、飛島を舞台に海岸漂着物等を題材にした体験型環境教育プログラムを開発・実践することで、就学・就労等への意欲を育むとともに、海岸漂着物問題に対する関心を高め、積極的にその問題に自ら取り組める人材の育成を図る。</p>	

<p>◇H27 年度開始</p> <p>2,562 千円 (国補助、県費)</p>	<p>●内 容</p> <p>1 内容</p> <p>(1) 青少年の自立支援のための個に応じた体験型環境プログラムの開発</p> <p>(2) 飛島を教材とした宿泊型・体験型の環境教育の実施</p> <p>(3) 宿泊型・体験型の環境教育プログラムの有効性の検証</p> <p>2 期日・場所</p> <p>(1) 平成 30 年 8 月 8 日(水)～9 日(木) 1泊2日(予定) 酒田市飛島(宿泊場所: 民宿または旅館) ※荒天時: 金峰少年自然の家分館海浜自然の家</p> <p>(2) 対象 フリースクールに通う中学生・高校生 16 名 上記引率指導者 6 名 フリースペースに通う 20 代～30 代の青年 6 名</p> <p>(3) 主な活動</p> <p>① 社会とのつながり学習及び体験 ・海岸クリーンナップ体験 ・海洋ごみ問題学習 他</p> <p>② 飛島の魅力学習及び体験 ・飛島学講座 ・島の歴史、文化散策 ・夜光虫観察 他</p> <p>③ 参加者や島民との交流 ・体験を通じた交流会・進路や生き方を考えるミーティング他</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 (委託)</p>
---	--	---------------------------------------

2 郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する

(1) 郷土愛を育む教育の推進

本県には、緑あふれる豊かな自然、4つの地方ごとに特色のある歴史、草木塔などに象徴される生きとし生けるものを畏れ敬うという感性を大切にしてきた風土、世界で活躍した偉人や地域の発展に尽くした先人など、誇るべき「資源」が数多く存在している。グローバル化が進展する中、県民一人ひとりが自らの「心の拠りどころ」を持って生きることができるよう、郷土の自然や歴史、伝統文化、先人の業績などに対する理解を深めることは、山形の未来をひらく人づくりを進めるうえで極めて重要である。

県内各地で自然や歴史、伝統文化、食などの地域資源を活かした地域活性化の取組みが進められている中、郷土の魅力が子どもたちに十分には認識されていないという指摘がある。このため各学校段階において利用できる自作の視聴覚教材の製作を奨励し、郷土の自然・歴史・文化等に関する教育活動を推進することにより、郷土を愛し、地域とつながる心を持つ人材を育成していくことが必要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>視聴覚教材普及事業</p> <p>◇H21 年度開始</p> <p>243 千円 (県費)</p>	<p>●目的 自作の視聴覚教材製作を奨励し、郷土の自然・歴史・文化等に関する教材提供を可能にすることにより、郷土に誇りを持ち地域とつながる心を持つ人材を育成する。</p> <p>●内 容</p> <p>1 第 67 回 県自作視聴覚教材コンクール 学校教育部門・社会教育部門・児童生徒作品部門 映像作品, デジタルコンテンツ, 紙芝居 等 ・審査会 1 月 18 日(金) ・表彰式 2 月 16 日(土)</p> <p>2 優秀教材複製及びふるさと塾アーカイブスへの掲載</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>

(2) 山形の宝の保存活用・継承

地域に残る伝統文化や民俗芸能は、長い歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた県民の財産であり、地域の地理的環境や人々の生活の知恵、先人の願いなどを物語っている。これらの貴重な地域資源を山形の宝として、『知る』『守る』『活かす』ことを基本に、将来にわたり、確実に継承する取組みは、歴史的・文化的価値の継承のみならず、郷土に対する誇りと愛着を育み、地域コミュニティの活性化や新たな交流の拡大にもつながっていく。

本県では、地域の祭りや行事などの伝統芸能への小・中学生の参加率が比較的高く、地域とのつながりの強さが表れているが、一方で、小・中学校の統廃合や地域コミュニティの弱体化などにより、子どもも大人も地域の伝統文化や民俗芸能に触れる機会が少なくなり、活動が困難になっている団体も見られるようになっている。地域の伝統文化や民俗芸能を守っていくため、団体活動の活性化や指導者と後継者の育成の支援を継続することが重要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>伝統芸能育成事業 子ども伝承活動 ふるさと塾</p> <p>◇H17年度開始 (文化環境部)、 H19年度より 教育庁に移管 H24年度事業統合</p> <p>5,065千円 (国補助、県費)</p>	<p>●目的 子どもの郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域文化の保存・伝承を通じて、子どもの社会力の育成を目指し、親から子、子から孫の代へ「ふるさと山形」のよき生活文化や知恵、伝統芸能などの素晴らしい地域文化を教え合い、学び合いながら、伝承していく活動を推進していく。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市町村への活動支援【交付金総額 9,591千円】 市町村総合交付金によって地域文化継承の基盤づくりのために助成し、市町村への支援を図る。 2 記録保存システムの運用 公益財団法人山形県生涯学習文化財団との連携により、ふるさと塾アーカイブスのコンテンツの充実を図る。 3 指導者の育成 地域文化の伝承に携わっている方々を対象に研修会及び出前講座を開催し、指導者の資質向上と地域の実情に応じた課題の解決をめざし、団体同士の人的ネットワークの形成を図る。 4 子どもたちの発表機会（ふるさと芸能のつどい） 「日本一さくらんぼ祭り」に合わせて「ふるさと芸能のつどい」を開催し、継承者となる子どもたちの発表の機会を確保するとともに、来場者や観光客に本県に伝承される民俗芸能の魅力に触れてもらう。 ・開催日：6月23日（土） ・場所：山形市七日町～本町の路上（屋外での上演）で、特設舞台設営 ・団体：12団体（子ども8団体、大人4団体） 	<p>市町村</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>教育事務所</p> <p>文化財・生涯学習課</p>

3 学校と家庭・地域が協働し支え合う仕組みを構築する

(1) 学校と家庭・地域との連携協働の推進

子どもたちの豊かな学びと健全な育成を支えていくためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、地域社会全体で連携・協働する取組みを支援していくことが必要である。

子どもたちの日常の遊びや生活体験を通じた学びは変化してきており、携帯型ゲーム機を介して友達と遊ぶ姿も見られ、地域における異年齢集団の外遊びが減っているとの指摘がある。また、少子化により近くに遊び相手がいないなどの理由から、自然体験の減少や体力の低下も危惧されている。

また、大人同士の交流の機会も少なくなり、人間関係が希薄化し、地域のコミュニティの弱体化が進み、学校を支える「地域の地盤」がゆらいでいる地区も見られ、地域の教育力の低下が指摘されている。

少年期における体験活動や学びを支援する取組みを通して「地域の教育力」を高めつつ、子どもたちの直接的な体験活動や学びを豊かにしていくことが必要である。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>学校・家庭・地域の連携協働推進事業</p> <p>◇H28年度開始 ◇H28年度事業統合</p> <p>108,599千円 (国補助、県費)</p>	<p>●目的 学校・家庭・地域の連携協力を進める市町村の各取組みが有機的に連携するための機能を備えた「教育プラットフォーム」を構築することで、地域住民が積極的に子どもの教育や子育て支援にかかわる環境づくりを推進する。</p> <p>●内容</p> <p>1 県推進本部・検討部会（学校支援・放課後等支援・家庭教育支援部会）の設置 県推進本部：平成31年1月29日（火） 学校支援検討部会：6月5日（火） 放課後等支援検討部会：8月28日（火） 家庭教育支援部会：6月7日（木） 県全体の推進体制を計画・検証する有識者等による会議を行う。</p> <p>2 連携協働サポートチームの設置 (1) 市町村推進協議会の立上げサポート 市町村の実態を調査すると共に、運営組織の見直し、他部局との連携を図る組織作りを支援する。 (2) 優れた実践の普及・啓発（市町村訪問・研修会等の開催） 有識者や社会教育主事等でチームを組織し、市町村訪問や研修会の実施を通して、各市町村における教育プラットフォームの構築と地域学校協働本部の設置の推進を図る。</p> <p>3 指導者の育成・学習機会の提供 (1) コーディネーター研修会の開催（年1回） ・地域学校協働活動研修会 8月23日（木）遊学館 (2) 地域コーディネーター等人材発掘 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）や教育活動推進員等として、主体的に活動できる人材を発掘するため、教職員の退職予定者を対象に、その資質と能力を地域において発揮してもらうための説明会を実施する。 【期日】1月～2月（教職員退職説明会にて） 【場所】計4回（村山・最上・置賜・庄内）</p> <p>4 市町村補助事業の実施【再掲】 ※各施策を一体的・総合的に推進するための統合補助金制度（学校支援・放課後等支援・家庭教育支援）</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>教育事務所</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>市町村</p>
<p>学校・家庭・地域の連携協働推進事業 (地域学校協働活動の推進)</p> <p>◇H20～22年度は国委託10/10。現在は、</p>	<p>●目的 地域住民の積極的なボランティア活動を通じて、学校と地域の一層の連携体制を構築する「地域学校協働活動」を推進し、子どもと住民とのかかわりの中で子どもたちの成長を支え、地域の教育力を高める。</p> <p>●内容</p> <p>1 学校支援活動検討部会の設置 6月5日（火）</p>	<p>文化財・生涯学習課</p>

<p>補助事業 ◇H28 年度事業統合</p> <p>108,599 千円 (国補助、県費)</p>	<p>地域と学校の連携や、学校支援ボランティアの活動について協議し、市町村の事業充実のために意見を聴取する。</p> <p>2 コーディネーター研修会の開催 各市町村が設置する地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の資質向上や相互の情報交換を図る。 ・地域学校協働活動研修会 8月23日（木）</p> <p>3 地域未来塾の普及・啓発 ・先進的・効果的実践事例の公開 ・実施効果の分析と周知</p> <p>4 市町村補助事業の実施【国 1/3 県 1/3】 (1) 運営委員会の設置 市町村全体における事業の企画・立案及び評価・成果の普及、 ボランティアの研修など (2) 地域学校協働本部の設置 ・学校との連携・協働について協議する「地域教育協議会」の開催 ・学校と地域のボランティアをつなぐ地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の配置 ・学校支援ボランティアによる学校教育活動の支援 ・地域未来塾（地域住民による学習支援）の実施</p>	<p>生涯学習振興室</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>教育事務所</p> <p>市町村</p>
<p>学校・家庭・地域の 連携協働推進事業 (放課後子ども 総合プランの推進)</p> <p>(H19～放課後子ども 教室推進事業・ H27 放課後子ども 総合プラン推進 事業)</p> <p>◇H28 年度事業統合</p> <p>108,599 千円 (国補助、県費)</p>	<p>●目的 放課後や学校外活動における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、地域の教育力の向上を図る。</p> <p>●内容</p> <p>1 放課後等支援検討部会の設置 8月28日（火） 県内全域で子どもの健全育成を図り、市町村における「放課後子ども総合プラン」の取組みの促進のために、十分な意見聴取を行い、関係機関や福祉部局との協力体制を構築する。</p> <p>2 コーディネーター研修会の開催 各市町村が設置するコーディネーターの資質向上や相互の情報交換を図る。 ・地域学校協働活動研修会 8月23日（木）遊学館</p> <p>3 指導者研修会の開催（4地区毎に年2回以上） 「放課後子ども教室」及び「放課後児童クラブ」における指導者や教員等を対象に実施する。</p> <p>4 市町村補助事業の実施【国 1/3 県 1/3】 (1) 運営委員会・学区毎の協議会（一体型）の設置 市町村の「行動計画」や「放課後子ども総合プラン」等の策定や、各小学校区における「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」事業の充実及び連携の方策等について協議 (2) 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の配置 学校関係者や地域の団体、ボランティア、児童クラブ関係者、保護者等を結ぶ核となる人材の配置 (3) 「放課後子ども教室」の実施 すべての子どもを対象に、地域の方々の参画を得ながら地域の実情に応じて実施する学習活動や体験活動の場の確保 (4) 「放課後児童クラブ」の実施（※子育て支援課主管） 昼間、保護者が家庭にいない児童の生活の場の確保</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 子育て支援課</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>教育事務所</p> <p>市町村</p>

<p>P T A 指導者研修事業 (社会教育研修事業)</p> <p>◇S57 年度開始</p> <p>204 千円 (県費)</p>	<p>●目的 P T A 指導者を対象とした領域的・体系的な研修を実施し、資質向上を図ると共に、地域と学校の連携・協働の体制づくりを推進する。</p> <p>●内容</p> <p>1 P T A 指導者研修会 期日：11 月 10 日（土） 場所：寒河江市中央公民館ホール（予定） 対象：小中高・特別支援各学校 P T A 指導者等 250 名 内容：表彰、事例発表、講演 （子どもの生活リズム向上山形県フォーラムと同時開催）</p> <p>2 その他の P T A 関係事業</p> <p>① 優良 P T A 表彰事業 ・ 県教育委員会表彰選考委員会（5 月） ・ 優良 P T A 文部科学大臣表彰の推薦（6 月）</p> <p>② P T A 研修資料作成 「これからの P T A No.48」の編集及び発行</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
---	---	------------------------------

4 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める

(1) 青少年の地域力発揮

本県の青少年ボランティア活動については、各地の青少年ボランティアサークル活動が「山形方式」と呼ばれ地域の方々から親しまれている。こうした青少年の主體的なボランティア活動は、参加者自身の社会力向上につながるとともに、子どもたちの地域での活動の充実に資するなど、重要な教育資源である。青少年ボランティアサークル活動の活性化に向けて、ボランティア活動を開始するきっかけとなる体験機会や、ボランティアサークル会員の意欲向上につながる交流機会、ボランティア活動をコーディネートする人材養成のための研修機会の充実が必要である。

青年層の活動については、かつて地縁的な集団として地域の中核を担っていた青年団はほぼ姿を消している一方で、活動意欲にあふれる 20 歳代を中心とする団体が各地で地域活動を開始するなど、地域活動が活性化する兆しが感じられる。しかし、なかなか活動の輪が広がらず活動の継続が難しいなどの課題が指摘されており、地域活動に関心を持つ青少年を対象とする学習機会や、次の世代の活動者育成のための事業が必要とされている。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>地域青少年ボランティア活動推進事業</p> <p>◇H17 年度開始 H22 年度事業変更</p> <p>1,356 千円 (県費)</p>	<p>●目的 県民に広く情報を提供するとともに、支援体制の整備及び研修・交流の機会を確保することにより、地域青少年ボランティア活動を推進し、様々な世代の人との交流の中で青少年の「地域とつながる」力の向上を目指す。</p> <p>●内容</p> <p>1 中央センター事業</p> <p>(1) 山形県地域青少年ボランティア推進会議の開催（年 2 回） (2) Y Y ボランティアビューローの設置</p> <p>年間を通じ、各種研修・交流会・イベント等の案内、各サークルの紹介や活動状況などの情報を広く発信。青少年を対象にボランティア活動希望者と受入団体・機関をコーディネート。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの管理運営とスマートフォン対応への取組み ・ 夏の体験ボランティア（リーフレット配布） ・ 出前講座（10 回程度） ・ ボランティア活動実態調査（全日制高校 3 年生） ・ 地域青少年ボランティアサークル活動調査（年 2 回） 	<p>県青年の家</p>

	<p>(3) Y Yボランティアの集い (年 2 回程度) ボランティア活動に意欲を持つ青少年を対象とする交流会を 1 泊 2 日で実施。</p> <p>(4) ボランティア関係者研修会 活動支援者の養成を目的とした研修会を実施。</p> <p>(5) ボランティア実技研修会 (青年の家体験講座の一環として) ボランティア活動に取り組む青少年および活動支援者を対象に、活動の幅を広げる目的で実技研修会を実施。</p> <p>2 地区センター事業</p> <p>(1) 地区地域青少年ボランティア推進会議の開催 (年 2 回)</p> <p>(2) 中学生ボランティアリーダーセミナーの実施 中学生を対象に、ボランティア活動の意義や手法等を学ぶセミナーを 1 泊 2 日程度の日程で実施。</p> <p>(3) 地域青少年ボランティア活動セミナーの実施 ボランティア活動に興味を持つ中高生を対象に、ボランティア活動を始めるきっかけの提供や、活動内容の深化をテーマに交流と学びの場を設置。</p>	教育事務所
<p>青年による持続可能な地域づくり推進事業</p> <p>◇H28 年度開始</p> <p>834 千円 (国交付金、県費)</p>	<p>●目的 地域貢献活動をしている青年が高校生に対してセミナー等を開催し、ともに地域課題について考えることで地域活性化に関する高校生の当事者意識を涵養する。</p> <p>●内容</p> <p>1 高校生地域活動セミナー 高校生を対象に、地域課題や地域活動について学ぶためのセミナーを提供する。4 地区 7 会場 (最上のみ 1 会場) で実施。各会場 20 名程度の高校生が対象。 セミナー内容については下記「実行委員会」において、地区毎の地域課題に応じて企画する。</p> <p>2 実行委員会 「高校生地域活動セミナー」を企画運営するための委員会。各地区から計 30 名程度の青年 (大学生を含む地域活動の実践者) を募り、県青年の家で 2 回、各地区で 4 回程度実施する。県実行委員会ではそれぞれの取組み内容を共有し、先進事例について学ぶ。地区実行委員会では高校生地域活動セミナーの具体的な内容について企画する。実行委員会が青年たちの学びの場となるように支援する。</p>	<p>教育事務所</p> <p>教育事務所 県青年の家</p>

(2) 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実

すべてのライフステージで学習機会が提供され、学びの成果を発揮できる環境づくりが求められており、成人期と高齢期の社会教育の充実が課題となっている。

成人期には、豊かな学習を通じて学ぶ楽しさを知り、知識や教養等を高め、その成果を社会参画や社会貢献の活動につなげていけるようにするための実践的な学習機会の提供が求められている。また、高齢期には、高齢者の知恵や経験を地域づくり等に活かし、生きがいを持って社会にかかわることができるような環境づくりが求められている。しかし、近年これら両期を直接の対象とする社会教育事業への国や県の支援はなく、各市町村の独自の取組みに委ねている状況となっている。各市町村の現状を話し合い、課題を共有することで、ねらいに近づけるようにする。

社会教育の推進において民間団体は大きな役割を果たしていることから、社会教育関係団体の自主的かつ主体的な運営を尊重しつつ、適切な指導・助言を行うとともに、当該団体が計画的に実施する社会教育に関

する事業を支援し、もって社会教育関係団体の活動の活性化を図る。

本県の社会教育施設には、図書館、博物館、青少年教育施設がある。県民の多様なニーズに応える魅力ある施設となるよう、それぞれの特質を生かしながら、人、自然、文化、社会とかかわる体験活動等が推進されるように努める。また、県生涯学習センターについては、生涯学習振興の拠点施設として、適切かつ効率的な管理運営を行い、その機能を維持するために必要な施設整備を行うとともに、公益財団法人山形県生涯学習文化財団との連携により、県民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、地域の活性化を担う人材の育成及び県民の文化の振興を図る。

また、社会教育の専門的職員である社会教育主事を計画的に養成し、県及び市町村教育委員会における社会教育の推進を図るとともに、社会教育主事有資格教員を学社連携・融合推進体制づくりの核と位置付け、その増員を図る。

「第5次山形県生涯学習推進計画」の策定により、県として生涯学習の振興に向け、総合的に施策を実施していくための基本的な方向及び方策が明確となった。このことを受け、県の生涯学習推進体制を整備し、各組織の連携によって、県民に対し充実した学習の機会を提供していく。

事業名等	事業の目的・内容	実施主体
<p>成人期・高齢期教育 担当者研修事業</p> <p>(学びと協働に よる地域コミュニ ティ活性化事業)</p> <p>(助成)</p> <p>県社会教育連絡協議会</p>	<p>●目的 成人期・高齢期における社会教育の現状を調査し、豊かで活力ある地域社会を形成するため、よりよい生涯学習の機会と場を提供できるように検討していく。</p> <p>●内容</p> <p>1 成人期・高齢期の学習の調査 市町村が開催している、成人・高齢者を対象とした講座等の開催場所や内容等を調査する。</p> <p>2 指導者研修会の開催 成人期・高齢期における学習活動の今後の在り方について学ぶための研修会を開催する。(成人期・高齢期教育研修会) ・期日 9月7日(金) ・場所 県庁講堂(予定)</p> <p>3 社会教育関係職員研修等 (1) 社会教育関係職員初任者講座 ①内容: 講義、ワークショップ、職種別分科会をとおして、社会教育を推進するために必要な基礎・基本を学ぶ。 ②期日・場所 【1回目】 6月14日(木)・遊学館 【2回目】 11月16日(金)・県青年の家 ③対象: 市町村社会教育関係職員、公民館関係職員、コミュニティセンター職員等のうち、経験年数が2年未満の者 (2) 社会教育関係職員スキル別講座 (地域づくりを担う人材育成セミナー) ①内容: 個人の要望や社会の要請にこたえる社会教育事業の企画力を高める研修会を開催する。 ②期日・場所 【村山会場7月】【庄内会場 9月】</p> <p>4 市町村研修等支援事業<出前講座> ①期日・場所: 各市町村の計画による ②対象: 各市町村の社会教育関係職員、公民館関係職員、コミュニティセンター職員等 ③内容: 各市町村の計画による</p> <p>5 学校・家庭・地域の連携協働推進事業 地域ボランティア等人材発掘【再掲】</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>県生涯学習文化財団 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>県社会教育連絡協議会 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室 教育事務所</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>

<p>社会教育関係団体の支援 (社会教育関係団体事業費補助金)</p> <p>◇S34 年度開始</p> <p>346 千円 (県費)</p>	<p>●目的 社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図る。</p> <p>●内容 事業費補助金の交付</p> <p>◇補助金名、対象団体</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 山形県社会教育連絡協議会事業費補助金 ・山形県社会教育連絡協議会 2 P T A連合会事業費補助金 ・山形県 P T A連合会 ・山形県高等学校 P T A連合会 ・山形県特別支援学校 P T A連合会 3 婦人団体事業費補助金 ・山形県婦人連盟 4 ボーイスカウト事業費補助金 ・ボーイスカウト山形県連盟 	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>県立図書館の整備・充実</p> <p>21, 895 千円 (県費)</p>	<p>●目的 県民の高度化、多様化する学習ニーズに的確に対応するため、県民の学習活動の基幹施設である県立図書館の基本的機能が発揮できるように、図書館資料の収集・整備・保存に努める。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 図書資料整備充実事業 ・一般図書、専門雑誌、地域資料 ・視聴覚資料（ビデオテープ、DVD、CD、 新聞記事データベース 等の充実） 	<p>県立図書館</p>
<p>県民が集い・学ぶ 県立図書館整備</p> <p>◇H27 年度開始</p> <p>402, 185 千円 (県費)</p>	<p>●目的 県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点となるため、図書館本来の機能の向上はもちろんのこと、開架書架や閲覧席数の増加などの大規模改修を行い、多くの県民が集い・学ぶ図書館を目指す。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大規模改修工事の実施 	<p>文化財・生涯学習課 県立図書館</p>
<p>県立博物館の整備・充実</p> <p>4, 414 千円 (県費)</p>	<p>●目的 文化学術拠点としての博物館機能の強化を図り、地域への愛着や誇りを育むため、魅力ある博物館活動を展開する。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プライム企画展の開催 2 学習会・研修会等の実施 3 解説ボランティアの配置・活動 	<p>県立博物館</p>
<p>県青少年教育施設の整備・充実</p> <p>7, 507 千円 (県費)</p>	<p>●目的 青少年教育施設の安全性を高め、利用者が安全・安心に活動できる充実した学習の場の提供を行う。</p> <p>●内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 朝日少年自然の家 野外トイレの改修 2 飯豊少年自然の家 敷地内山林マツ枯れ対策 	<p>県青少年教育施設</p>

<p>県社会教育委員の 会議</p> <p>生涯学習検討 委員会</p> <p>609 千円 (県費)</p>	<p>《社会教育委員の会議》</p> <p>●目的 行政と県民のパイプ役・橋渡し役として、教育委員会への意見具申や助言指導などを行い、本県社会教育の充実に資する。</p> <p>《生涯学習検討委員会》</p> <p>●目的 県の生涯学習推進体制の整備に向けて、生涯学習関連部局等が連携し、総合的に施策が展開されるよう設置した「生涯学習推進委員会」とともに、外部有識者が「山形県生涯学習振興計画」の進捗状況を点検し必要な提言を行う。</p> <p>●日程</p> <p>◎第 183 回山形県社会教育委員の会議 平成 30 年 6 月 18 日 (月)</p> <p>◎第 184 回山形県社会教育委員の会議 平成 30 年 9 月 20 日 (木)</p> <p>◎第 185 回山形県社会教育委員の会議 平成 31 年 2 月 14 日 (木) ・平成 30 年度「生涯学習検討委員会」を兼ねる。</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>社会教育主事養成 事業</p> <p>◇S56 年度開始 (有資格教員研修 は H26 年度開始)</p> <p>2,265 千円 (県費)</p>	<p>●目的 東北大学及び国立教育政策研究所社会教育主事講習等への派遣により、社会教育推進体制の充実と、幅広い知識を身につけた教員の養成を図る。 また、学校への社会教育主事有資格者の配置と、社会教育主事有資格教員のスキルアップを図り、学校・家庭・地域の連携を促進する。</p> <p>●内容 《社会教育主事講習》</p> <p>1 対象 (1) 県教育庁社会教育関係職員 (2) 公立小・中学校、県立高校・特別支援学校の教員</p> <p>2 実施内容 社会教育主事の資格取得のため、社会教育法第 9 条の 5 の規定に基づき東北大学等が実施する社会教育主事講習への派遣</p> <p>3 日程・会場 (1) 東北大学 (東北大学及び磐梯青少年交流の家) 7 月 2 日～8 月 8 日 ※県内研修 (山形県青年の家) 6 月 11 日～6 月 12 日 (2) 国社研[A] (社会教育実践研究センター他) 7 月 23 日～8 月 24 日 (3) 国社研[B] (社会教育実践研究センター他) 1 月 21 日～2 月 27 日</p> <p>《社会教育主事有資格教員研修》</p> <p>1 対象：公立小中学校の社会教育主事有資格教員</p> <p>2 実施内容 (1) 最新の社会教育事情や学社連携のあり方を学ぶ。 (2) 各自の実践を持ち寄り研修し合う。</p> <p>3 日程・会場：教育事務所毎に実施</p>	<p>文部科学省 (東北大学) 文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>教育事務所</p>

<p>生涯学習施設の 整備・充実</p> <p>◇H2 年度開始</p> <p>93,251 千円 (県費)</p>	<p>●目的 生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センター（遊学館、霞城セントラル10階）、センター分館（山形県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」）の効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行う。</p> <p>●内容 1 県生涯学習センター管理運営費 ・施設の維持管理及び使用許可等業務に係る指定管理料 （指定管理者制度導入 H18 年度～） 指定管理者：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 指定の期間：平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>
<p>生涯学習振興に係る連絡調整 (生涯学習推進委員会)</p> <p>◇H25 年度開始</p>	<p>《第 5 次山形県生涯学習振興計画 説明会》</p> <p>●目的 県の生涯学習推進計画を市町村に説明し、その推進を図る。</p> <p>●内容 各教育事務所等で行う会議の席上を活用して、計画の説明、及び好事例等の紹介等を行う。</p> <p>●日程・会場 平成 30 年 4 月～9 月、村山・最上・置賜・庄内の計 4 会場</p> <p>《生涯学習推進委員会》</p> <p>●目的 県の生涯学習推進体制を整備し、生涯学習に関する施策の総合的な企画及び調整を行い、その推進を図る。</p> <p>●内容 生涯学習推進委員会を設置し、関係部局や山形県生涯学習センターが連携し、総合的に施策が展開されるよう努める。</p> <p>●日 程 平成 30 年 5 月 18 日（金）</p>	<p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p> <p>文化財・生涯学習課 生涯学習振興室</p>

V 平成30年度 県社会教育施設関係事業

(1) 山形県立図書館

☎990-0041 山形県山形市緑町一丁目2番36号

TEL 023-631-2523(代)

FAX 023-625-6520

1 運営方針

「県立図書館の将来のあり方について」(平成27年3月策定。以下「あり方」という。)に掲げる基本理念『県民のあらゆる活動を支え、地域の課題解決に貢献する知の拠点』を目指し、「山形県立図書館活性化基本計画」(平成28年3月策定)も踏まえながら、次の3つの基本目標を掲げて各種施策を展開する。

- (1) 県内図書館の中核的役割の発揮(「あり方」基本目標1)
- (2) 県民ニーズ実現のための積極的支援(同基本目標2)
- (3) 県民本位の利用しやすい図書館づくり(同基本目標3)

2 主な取組み

(1) 県立図書館の大規模改修の実施

- ① 教育庁文化財・生涯学習課が実施する県立図書館の大規模改修に伴う作業に積極的に参画し、本県における「知の拠点」として県民ニーズに適合した施設づくりに努める。
- ② 改修工事中もできる限り利用者サービスを継続し利用者の要望にこたえていくとともに、各種市町村支援についても継続実施していく。
- ③ リニューアル後の管理・運営方針を、サービスのあり方・開館時間の拡大を含め検討する。

(2) 県内図書館の中核的役割の発揮

市町村図書館(室)及び学校図書館の支援や連携事業を実施するとともに、各機関・団体等との連携強化に努め、本県全域の図書館サービスの向上を主導し、県内図書館の中核的役割を発揮する施策に取り組んでいく。

《具体的な施策》

- ① 資料整備の推進
- ② 相互貸借、インターネット予約及び特別貸出の推進
- ③ 県内公立図書館の機能向上の支援
- ④ 県内公立図書館との連携事業の推進
- ⑤ 県内公立図書館職員の研修支援
- ⑥ 学校図書館との連携の推進
- ⑦ 調査相談(レファレンス)の充実
- ⑧ 職員の資質の向上

(3) 県民ニーズ実現のための積極的支援

県及び市町村、教育機関、民間団体、企業等と連携を図りながら、県民に読書機会を積極的に提供するとともに、県民の知的ニーズ・情報ニーズへの対応と課

題の解決を支援する施策に積極的に取り組んでいく。

《具体的な施策》

- ① 地域の課題解決や地域活性化への支援
- ② 知的情報の発信
- ③ 読育の推進
- ④ 地域政策課題解決の支援
- ⑤ 貴重資料デジタル化の推進
- ⑥ 積極的な情報発信による認知度の向上
- ⑦ ボランティアの受入れ等、図書館運営への県民参加の推進

(4) 県民本位の利用しやすい図書館づくり

多くの県民に利用されるようサービス内容や利便性の向上に努めるとともに、にぎわい創出のための取組みの推進等不断の図書館改善に取り組んでいく。

《具体的な施策》

- ① 開館日の増加等
- ② 蔵書管理の充実による利便性の向上
- ③ インターネット・複写サービスの利便性向上
- ④ 障がい者、高齢者、乳幼児及び同伴者等へのサービスの向上
- ⑤ 親しみやすく、発見のある図書館づくりの推進
- ⑥ 県民活動や地域の活性化につながる取組みの展開

(2) 山形県立博物館

〒990-0826 山形市霞城町1番8号

TEL 023-645-1111 FAX 023-645-1112

1 めざす博物館像

集い、創り、育む博物館

2 運営方針

- (1) 魅力的な展示、企画づくり (2) 収蔵資料の保存及び調査・研究の充実 (3) 社会教育、大学等との連携、支援
(4) 学校教育との連携、支援 (5) 積極的な情報発信、広報活動の展開 (6) 将来構想の検討

3 重点事項

- (1) 大人をターゲットにした深みのある展示や企画の実施
(2) 幅広い年代層の集客につながる各種体験イベント、講座等の実施
(3) 効果的な情報発信、広報活動の工夫

4 事業計画

(1) 展示会(企画展と特別展)

- ① 「明治150年」記念 特別展「^{ターニングポイント}転換点—幕末動乱と統一山形—」(本館)、「明治の山形県師範学校」(分館)
: 6月2日(土)～ 8月19日(日)
② プライム企画展「ヤマガタダイカイギュウと人魚たち —1千万年、進化のドラマ—」
: 9月22日(土)～ 12月 2日(日)
③ 共同企画展「私たちのたからもの」
: 12月15日(土)～ 2月24日(日)
④ やまはくセレクション展「収蔵庫のとおき」
: 3月 9日(土)～ 5月26日(日)

(2) 教育普及事業

① 講座・教室等

- ア 館長・学芸員講座 : 一般成人対象(50名程度)
6月30日(土)、7月 7日(土)、9月15日(土)、10月20日(土)
イ 古文書講座(入門編) : 一般成人対象(40名程度)
5月10日(木)、6月 7日(木)、7月 5日(木)、7月26日(木)、10月 4日(木)、
11月 8日(木)、12月 6日(木)、1月10日(木)、2月 7日(木)
ウ 古文書講座(応用編) : 一般成人対象(40名程度)
5月11日(金)、6月 8日(金)、7月 6日(金)、7月27日(金)、10月 5日(金)、
11月 9日(金)、12月 7日(金)、1月11日(金)、2月 8日(金)
エ 自然学習会 : 小学生とその保護者対象(地学・動物・植物の各班20名程度)
6月 23日(土) 朝日少年自然の家、7月28日(土) 神室少年自然の家
オ 夏休み体験教室 : 小学校3年生以上対象(20名程度)
7月 31日(火)「化石のレプリカづくり」、8月 1日(水)「勾玉づくり」
カ 植物観察会 : 一般対象(4/30は50名程度、7/1は20名程度)
4月30日(月)、7月1日(日)

② イベント

- ア 特別開館(入館料無料)
・こどもの日記念行事 : 5月 5日(土)「春の博物館まつり」
・東北文化の日記念行事 : 10月27日(土) プライム企画展関連イベント「記念講演会」
10月28日(日) プライム企画展関連イベント「化石のレプリカづくり」
・文化の日記念行事 : 11月 3日(土)「秋の博物館まつり」
イ ナイトミュージアム : 8月11日(土)「夏の博物館まつり」

ウ 体験イベント

- ・「植物工芸教室」 : 12月9日(日)、1月14日(月)「冬の博物館まつり」

③ その他

ア 特別展記念講演会 6月 2日(土)、 7月 8日(日)

イ プライム企画展記念講演会 9月29日(土)、10月27日(土)

ウ プライム企画展体験イベント

- ・化石のレプリカづくり 10月 8日(月)、10月28日(日)

- ・化石発掘体験教室 10月 6日(土)、11月11日(日)

オ 国宝「縄文の女神」解説会

4月22日(日)、6月10日(日)、8月12日(日)、10月14日(日)、12月23日(日)、2月10日(日)

カ 展示解説会

- ・企画展「自然の色とかたち」 4月14日(土)、5月 4日(金)

- ・「明治150年」記念特別展

ターニングポイント
「転換点—幕末動乱と統一山形—」(本館) 6月17日(日)、7月 1日(日)、7月16日(月)、8月 5日(日)

「明治の山形県師範学校」(分館) 6月 9日(土)、7月14日(土)

- ・プライム企画展「ヤマガタダイカイギュウと人魚たち —1千万年、進化のドラマ—」

9月22日(土)、10月13日(土)、11月23日(金)

- ・共同企画展「私たちのたからもの」 12月22日(土)、1月19日(土)、2月 2日(土)

(3) 共催事業

- ① 共同企画展「私たちのたからもの」 ② 高校生学芸員一日体験講座 ③ 植物観察会 ④ 友の会講演会
- ⑤ 友の会学習会 ⑥ 薬用植物友の会講演会 ⑦ 歴史文化講座

(4) 博物館情報の発信

- ① 平成30年度館報 ② 研究報告 ③ 博物館ニュース ④ 博物館ホームページ
- ⑤ 展示・催物案内 ⑥ 各事業案内チラシ ⑦ その他の広報

(5) 博学連携

- ① 高校生学芸員一日体験講座(定員各日程40名) 人文系:8月 2日(木)、自然系:8月 3日(金)
- ② 博物館実習(定員12名): 8月30日(木)~9月 5日(水)
- ③ 出張博物館(小学生等を対象とした学校に出向いての授業等支援:随時)
- ④ 職場体験学習の受入れ(小中高生対象:随時)
- ⑤ その他(学校や社会教育機関が実施する学習・講座・研修・体験:随時)

(6) 山形県立博物館ボランティアとの協力連携

(7) 山形県立博物館友の会との協力連携

(8) 調査研究

- ① 特別展、企画展に向けての調査研究 ② 時代に即した解説シートの検討と作成
- ③ 魅力ある教育普及事業の開発 ④ 常設展示の展示内容の検討

(3) 山形県青年の家

〒994-0032 天童市小路1丁目7番8号

TEL 023-654-4545・654-4547 FAX 023-652-2007

1 教育目標

様々な活動や交流をとおして積極的な社会参加を促し、自立と共助の精神に満ちた青少年を育成する。

2 運営方針

- (1) 人や社会とのかかわりにつながる様々な交流・体験活動の機会や情報を提供し、青少年の地域社会への主体的な参画を促し社会力の育成に努める。
- (2) 学校及び関係機関・団体との連携を図り、学校教育と社会教育の垣根を越えて次代を担う人づくりに努める。
- (3) 安全でコミュニケーションを重視した心の通う施設運営に努め、豊かな人間関係づくりを支援しながら青少年の健全育成を目指す。

3 運営の重点

- (1) 主催事業の充実
 - ① 事業のねらいを実現するため、企画・運営にあたっては、企画内容の検討や事前の準備を十分におこない、学びと交流を深める場となるよう努める。
 - ② 参加者にとって研修がより意義深い「学びの場」となるよう、参加者が主体的・自発的に活動する場面を多く取り入れる。
- (2) 関係機関・団体との連携
 - ① 教育事務所及び市町村の社会教育主管課、学校、社会教育関係団体等との連携を強化し、かかわりを深めながら事業の広報や内容の充実に努める。
 - ② 学校等への出前講座をとおして、中学生・高校生等の社会体験やボランティア活動を促進する。
- (3) 施設の有効利用と安全管理
 - ① 管理部門と指導部門の連携を密にし、利用者の多様なニーズに応えられるよう施設運営の改善及び広報に努め、施設の有効利用を図る。
 - ② 管理部門と連携し、定期的に施設・設備の安全点検を実施して事故防止に万全を期すとともに、防災訓練、避難誘導訓練、救急法訓練を行うなど安全管理体制の強化に努める。
- (4) 職員の資質向上
社会教育・青少年教育施設の専門職員として、様々な研修の場を積極的に活用して資質向上を図る。
- (5) 開所60周年事業
来年度、本所が昭和34年に山形市において開所して60周年を迎えるにあたり、関係機関との連携をより深めることを目的として記念事業を実施するための準備を行う。

中核機能	事業名	事業のねらい	事業内容	期 日	要項掲載	募集期間	対 象	人 数
青少年ボランティア活動推進事業	Y・Yボランティアビューロー（HP運営）	中学生・高校生にY・Yボランティアサークル等の情報を提供する。一般市民のY・Yボランティア認知度を向上を図る。	Yボラ情報の収集と発信 ホームページの充実 各サークル活動内容紹介	通年 (http://sainen.jp)			一般市民	20
	Y・Yボランティアサークル支援	サークル指導者の課題を把握し会員募集や活動内容の検討などの相談にあたる。出前講座を開催し、サークル会員のスキル向上を図る。	青少年地域活動団体名簿作成相談、コーディネート業務 サークル訪問 ボランティア出前講座	通年 名簿作成（6月～12月現在） サークル訪問（上期、下期） ボランティア出前講座（随時）		サークル会員、市町村社会教育担当者等		
	山形県地域青少年ボランティア推進会議	県内各地区の実践、活動、事業に関する情報を交換し、県内の地域青少年ボランティア活動の推進に向けた諸施策等について協議する。	県推進会議（5月、3月） 県内4地区推進会議（年2回）	①県推進会議5/9（火） 各地区推進会議5月～6月 ②各地区推進会議2月～3月 県推進会議3/5（火）		有識者 学校関係者 指導者		
	夏の体験ボランティア	ボランティア活動に参加するきっかけづくりとして、地域青少年ボランティア活動への体験参加を支援する。	体験ボランティア企画を中高生に紹介し、ボランティア活動を始めるきっかけづくりをする。	実施期間 7/20（金）～9/24（月）	7月上旬 学校を通じて配布	各企画へ各自申込	中高生	
	高校3年生のボランティア活動実態調査	高校3年生の高校在学中のボランティア活動の実態を調査し、地域青少年ボランティア活動推進における資料とする。	全日制高校3年生全員への質問紙法によるアンケート調査	実施期間 夏休み後～9/10（月）	7月上旬 高校へ配布	12月に調査結果を報告	高校生	
	Y・Yボランティアの集い	ボランティア活動に携わる青少年たちの交流をすすめる、地域青少年ボランティアの活性化とサークル会員増を図る。県内のサークル会員と指導者・担当者が活動を再確認するとともに、指導体制を支援していく。	アイスブレیکنング 各サークルの活動事例発表 各種講座 交流と情報交換 ワークショップ	①10/13（土）～14（日）1泊2日 金峰少年自然の家 ②12/8（土）～9（日）1泊2日 県青年の家	①9/3（月） ②10/22（月）	①9/7（金）～10/1（月） ②10/29（月）～11/28（水）	中学生 高校生 指導者 担当者	各80
	ボランティア関係者研修会	指導者や担当者間で悩みなどを共有しながら、スキルアップを図る。市町村担当者相互の連携を図る。	アイスブレیکنング ボランティアの技術向上 交流と情報交換	5/30（水）	4/25（水）	4/26（木）～5/22（水）	指導者 担当者 一般市民	30
	夏休み学習ボランティア	高校生・大学生等が、小学生への学習支援体験を行うことで、ボランティア体験のきっかけづくりと異年齢交流の機会とする。	天童市内の学童保育所における学習支援	7/30（月）～8/3（金） （1日参加可）	7/2（月）	7/3（火）～24（火）	大学生 高校生	5
	青年の家体験講座②（ボランティア実技研修）	ボランティアに興味・関心のある方を対象に、ボランティアに関する技術のスキルアップと交流を図る。	アイスブレیکنング ボランティアの技術向上 交流と情報交換	9/2（日）	7/4（木）	7/5（金）～8/22（水）	中学生 高校生 大学生 一般市民	50
	地域と学校の防災力を高める研修会	災害発生時に、初期対応にあたる公民館職員、地域住民や学校の教職員を対象に、避難所運営に関わるシュミレーションを行い、課題を解決する方策を探る。	講演（防災に関する有識者） 図上演習 ワークショップ （災害ボランティアのあり方等）	9/15（土）	7/24（火）	7/25（水）～9/5（水）	公民館職員 一般市民 教職員	30
次代を担うリーダーの育成	青年による持続可能な地域づくり推進事業 県実行委員会	地域活動をしている若者（青年・大学生）と高校生がワークショップ等の活動を通してともに地域の課題について考える場を地区毎に企画する事業。県実行委員会では、広く一般の方も含め、高校生と若者とが連携するための方法について学びます。	全体委員会 地区委員会の検討 高校生ワークショップの検討 各地区成果発表会	①6/24（日） ②2/17（日）	①5/7（月） ②1/14（月）	①5/8（火）～6/13（水） ②1/15（火）～2/6（水）	県内の青年 教職員 高校生 学生	30
	青年の家体験講座①、③（地域を知り、社会について学ぶ）	①地域の環境と文化について考える ③地域の食文化を通し文化と歴史を学ぶ	①近隣の河川の水質調査、最上川と山形県の間わりについての地域学習、環境保全に関するワークショップなどを通じ、地域の歴史や文化を学ぶ。 ③伝統食を通して、地域の文化について学ぶ。地域づくりに関するワークショップ。	①8/5（日） ③1/20（日）	①6/20（水） ③11/20（火）	①6/21（木）～7/26（木） ③11/21（水）～12/20（木）	中学生 高校生 大学生 一般市民	各30
	若者自立支援活動「わいわいカフェ」	不登校から社会的ひきこもりへの遷延化防止という点において、社会教育の機能を生かした交流会等を開催し、社会的ひきこもり青年に他者とかわる機会を提供し、社会参加に向けた後押しを行う。	アイスブレیکنング 軽スポーツやゲーム 自然体験、社会体験活動 交流活動	①5/24（木） ②9/28（金） ③12/18（火）	4/10（火） 全3回分 HP掲載	各回10日前 しめ切り ①5/14（月） ②9/14（金） ③12/7（金）	県内のひきこもりがちな青年と支援者等	各30
青少年にかかわる現代的課題への対応	家庭教育支援研修会 ①情報モラルと子どもの健全な発達 ②子どもの成長を育む食のあり方 あわせて、研修会・学習会の効果的な運営の手法についても学びます。	児童・生徒の保護者を対象に、情報機器の効果的な利用法や、食育の観点からみた心身の健全な発達について研修を行う。	①情報機器の活用について ②食育について ①②情報交換、ワークショップ	①7/7（土） ②10/27（土）	①5/22（火） ②7/18（水）	①5/23（水）～6/28（木） ②7/19（木）～10/12（金）	児童・生徒の保護者	各30
	オールでんどう社会教育懇談会	天童市内にある県教育関係機関などの教育関係者と天童市教育委員会の協力・連携関係を構築する。	各機関の事業説明 協力・連携の方法	関係各機関と日程調整の上決定 ①5月、②10月、③2月		天童市内にある教育関係機関	6	

※ 7月27日（金）～29日（日） 家庭学習習慣化親子体験塾（文化財・生涯学習課生涯学習振興室主管）を「青年の家」を会場に実施します。

◆職員による出前講座（ボランティア出前講座のほかに教職員・生徒会・部活動などを対象に、アイスブレیکنングやファシリテーションなどの出前講座を行っています。）

(4) 山形県朝日少年自然の家

〒990-1101 西村山郡大江町大字左沢字楯山 2523-5

TEL 0237-62-4125 FAX 0237-62-4126

1 基本テーマ 『光と水と大地の中で』 ～木々のみどり・風のささやき・水の鼓動～

2 教育目標

豊かな自然の中での野外活動や集団宿泊生活等を通して、社会力を育み、心身共に健全でたくましく生きる人間の育成に努める。

- (1) 自然の厳しさや優しさに触れ、自然を大切にする心を育てる。
- (2) 集団宿泊生活を通して、自らを律し仲間を思いやる心を養う。
- (3) 自然の中で心身を鍛え、主体的に実践・創造する態度を養う。

3 運営方針

『価値ある体験活動』を通して「社会力」を身につけ、自己実現できるよう支援する。

平成29年3月31日、学習指導要領が改訂され、知識理解の質を高め、資質・能力を育む『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善が求められた。また、教育内容の主な改善事項の中に、「生命の有限性や自然の大切さ、挑戦や他者との協働の重要性を実感するための体験活動、自然の中での集団宿泊体験活動の重視」などの内容も盛り込まれている。子どもの体験不足や「何のために学ぶのか」といった学びの必要性が問題視される昨今、そのねらいの具現化を考えた時、やはり、その学びを支えるものは「子どもの知的好奇心」、その知的好奇心を高めるために大切にしたいことは「実体験」だと考える。「体験」は、それをやり終えたとき、個々に「確かな自信」を育み、そして、「新たな課題」も与えてくれる。また、「どうして」「なぜ」といった好奇心は「学ぶ意欲」を高め、さらに「もっとこうしてみたい」「これはどうなんだろう」といった「深い学び」にもつながっていく。そのような意味からも、青少年教育施設、そして生涯学習の拠点としての機能充実を図るとともに、子どもの知的好奇心を高める価値ある体験活動の提供に努めていく。

4 活動スローガン 『体験』『発見』、そして、笑顔と感動の森「朝少」

5 運営の重点 ～昔も今も変わらない 施設利用者のすてきな「笑顔」のために～

(1) 社会教育施設としての運営基本を、指定管理者ともども再確認をしていく。(原点回帰)

- ① 自然体験、集団生活体験を基本とする。(価値ある体験活動の提供の場)
- ② 少年自然の家利用の特色(宿泊可能、本物体験、季節感を味わう活動、専門的指導者、活動しやすい屋内外の施設、活動に必要な豊富な物品など)を活かして、「現代的課題(体験・社会体験不足や親子共育など)」に対応した活動の充実に努める。

(2) 指定管理者制度導入効果を活かし、施設の有効的な活用を目指した事業の実施や積極的な広報活動を展開する。

- ① 指定管理者が得意とする分野での、積極的なプログラム開発と開催……施設の有効的な活用を図る生涯学習講座を開催する。
- ② デザイン性豊かなHPのスピーディーな更新と「朝少イメージキャラクター」の制作、そして効果的活用方法を検討する。
- ③ 宿泊施設としての、企業研修誘致への新たな挑戦に取り組む。

(3) 利用者が「笑顔」になれる温かな施設を目指す。

- ① 何より大切にしたい「明るい職場づくり」……「職場の雰囲気は施設全体の雰囲気となること」の職員共通理解を図る。
- ② 「自然の家は便利な施設」という「信頼の得られる施設づくり」……積極的な広報活動と来所者への丁寧な対応を心掛ける。
- ③ 市町教育委員会や関係機関(カヌー体験のグリバー寒河江や月山ネイチャーセンターなど)との連携をより大切にした、「周囲からも愛される施設づくり」……適時、関係機関を訪問し、「地域を知り、人を知り・・・」その情報をベースとして、『地域の特性を活かしたプログラムの開発や地元の方々との関わりを大切にした新たな事業開拓』に努める。
- ④ 活動支援のボランティアスタッフ(サポーター)を大切に、「人が育つ施設づくり」……大学や地元高校とも積極的に連携を図り、サポーターの育成に努める。また、利用者満足を支える従業員満足(サポーター満足)を考え、サポーターの「声」が届きやすい職場の雰囲気づくりも大切にしていこう。

⑤ 「外部の声が届く施設づくり」

……利用者アンケートの分析は勿論、計画的に「運営懇談会」を開催し、以後の運営に反映させていく。

⑥ 「安心・安全・安定した施設づくり」……慣れによる「職員の意識の低下」を防ぐ職員研修会の充実や活動環境の整備に努める。

(4) 広報・情報提供を工夫する。

- ① HPへの早めの情報掲載を心掛ける。(特に、写真等で活動の様子が伝わる魅力的構成を工夫する。)
- ② 報道機関との連携も積極的に図り、実施前の広報活動や事業実施後の紹介などを通して、次回につながる情報の発信に努める。

6 職場スローガン 『笑顔』『あいさつ』、そして『職員間の前向きな姿勢』……すべては『利用者満足』のために!

平成30年度山形県朝日少年自然の家 事業一覧

分類	事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	予定参加人数
ふれあい・体験推進事業	チャレンジキャンプ2018	大自然の中で仲間とともに長期にわたり野外活動をする中で、豊かでたくましく生きる力を育む。	・月山登山 ・月山志津キャンプ ・テント泊 ・最上川いかだ下り	8月1日(水)～6日(月) 【5泊6日】	小学4年生 ～中学3年生	30名
	朝日わくわく広場① 段ボールでピザを焼こう	家族と一緒に段ボールを使ってピザ窯を作り、粉からこねてピザ生地を作り、トッピングをして焼いて食べる。家族の交流と作る楽しさを味わう。	・段ボールピザ窯作り ・ピザ作り ・ピザ焼き	4月28日(土)	小学3年～中学生 までの子供と保護者 *幼児・低学年は 保護者同伴で可能	80名
	朝日わくわく広場② 朝少体験隊「ブナの森 探検と初夏キャンプ」	季節のブナ林を探索することによって、大自然の雄大さや神秘性を体感し、自然を愛する心を養う。	・アウトドアクッキング ・親子キャンプ ・天体観測 ・春の月山ブナの森探検	5月26日(土) ～27日(日) 【1泊2日】	小学3年～中学生 までの子どもと その保護者	20名
	朝日わくわく広場③ 朝少体験隊「ブナ雪原 探検と雪山遊び」		・冬の月山ブナの森探検 ・雪山で遊ぶ	3月2日(土)～3日(日) 【1泊2日】		
	朝日わくわく広場④ 朝少フェスタ 2018	屋台村や創作活動に主体的にかかわり、楽しく活動できるようにする。異年齢交流を通して、生活をよりよくするための知恵や技、コミュニケーション能力を養う。 (県立左沢高校対象ボランティア育成事業)	・仲間づくりゲーム ・お祭り屋台村(食べて、遊んで、作っての楽しい屋台づくりとお店屋さん体験)	9月29日(土) ～9月30日(日) 【1泊2日】	小学4年生 ～中学3年生 *屋台村参加は 年齢制限なし	40名 来場者は 制限なし
	朝日わくわく広場⑤ 朝少体験隊「地球の歴史探 検：ヤマガタダイカイギウ と化石掘り」	山形の化石である「ヤマガタダイカイギウ」が発見された場所を見学したり、化石発掘をしたりして、地球の歴史に触れる。	・ヤマガタダイカイギウ 発掘現場視察 ・地層の掘り方、観察 ・化石発掘体験	10月20日(土) 10月21日(日)	小学3年～中学生 までの子どもと その保護者	両日 各40名
	朝日わくわく広場⑥ クリスマスリース と門松作り	昔から伝わるクリスマスリースや門松を実際に作って飾ることにより、思い出に残るクリスマスやお正月を迎えられるようにする。	・クリスマスリース作り ・門松作り ・観賞会	12月8日(土)	小学3年～中学生 までの子供と保護者 *幼児・低学年は 保護者同伴で可能	リース 門松 各30名
	朝日わくわく広場⑦ 朝少冬満喫体験(1) スノーチューブ滑りと アイスクリームづくり	冬季限定の屋外活動、チューブ滑りやアイスクリームづくりを通して、親子のふれあいや参加者間の交流を図る。	・スノーチューブ滑り ・アイスクリームづくり	1月19日(土)	小学3年～中学生 までの子どもと その保護者	80名
朝日わくわく広場⑧ 朝少冬満喫体験(2) イグルーづくりと冬遊 び	冬季限定の屋外活動第2弾……、チューブ滑りに「イグルーづくり」を加えて、イグルーの中で過ごしたり、ランタンの明かりを楽しんだりして雪国ならではの「幻想的な雰囲気」を味わう。	・イグルーづくり ・スノーチューブ滑り ・寒中キャンプ体験	2月2日(土) ～2月3日(日) 【1泊2日】	小学3年～中学生 までの子どもと その保護者	30名	
子育て支援事業	朝日わくわく広場③ 親子「読育」 キャンプ	「テントの中での親の読み聞かせ」「夜の紙芝居広場」「自分だけの絵本作り」など、親子のふれあいを主としながら、自然の中での読育を意識した活動を楽しむ。	・自然の中でのキャンプ ・野外炊飯 ・「読育」につながる活動	7月7日(土)～8日(日) 【1泊2日】	幼児～小学2年生 と、その保護者	30名
	朝日わくわく広場⑤ 親子「火育/木育」 キャンプ	朝少のシンボルとして、昭和53年より燃え続けている「少年の火」を前面に出して、火の大切さを調理やキャンプファイヤーなどを通して、親子で楽しむ。さらに、「火」といえば「木」、木の大切さについても、県の環境科学センター等の指導を受けながらの活動を楽しむ。	・自然の中でのキャンプ ・ジャンボファイヤー ・親子自由遊び ・「木育」につながる活動	8月18日(土) ～19日(日) 【1泊2日】	幼児～小学2年生 と、その保護者	30名
	朝日わくわく広場⑥ 親子「食育」 キャンプ	「食」の大切さについて、魚つかみや野外炊飯などの体験を通して親子で学び楽しむ。	・自然の中でのキャンプ ・親子自由遊び ・魚捕まえや調理 ・「食育」につながる活動	9月8日(土) ～9日(日) 【1泊2日】	幼児～小学2年生 と、その保護者	30名
広域連携事業	朝日わくわく広場④ 力又一教室	月山湖管理組合と連携して、雄大な自然の中でのカヌー体験を行う。	・カヌー体験 ・沢遊び	7月16日(月)	小学4年生～中学生	30名
一般開放事業	春・夏プラネタリウム一般公開	楽器の生演奏を聴きながら、プラネタリウムで四季の星空めぐりをする事によって、星や星座への関心を高めます。	・季節の星座上映 ・星座に関する特集上映 ・楽器の生演奏 ・プロの星座アナウンス ・星空観望会	5月5日(土)～6日(日) 4回上映	どなたでも	各回60名 ×4回 240名
	秋・冬プラネタリウム一般公開		11月24日(土) 2回上映	各回60名 ×2回 120名		
	チューブ滑り 一般開放	屋外活動地を開放し、冬の遊びを満喫してもらおう。	・チューブ滑り	1月中旬から2月までの 事業等のない 土曜/日曜日	どなたでも	一開放 あたり 80名
自主事業	指定管理者 「ヤマコー」 の自主企画	指定管理者ヤマコーの企業力、ネットワークを活かしながら、豊富な講師陣を取りそろえ、平成29年度より開催した「生涯学習講座」を主として、幅広い年齢層を対象とした体験的な活動の場を提供する。	○体験型生涯学習講座 (以下の講座で受講生募集中) ・葦相工 ・ハワイアンキルト ・絵画 ・月山和紙 ・写真 ・クラフトバンド ・ストレッチ ・アレンジフラワー	平日の午前中	一般成人	一講座 10～ 15人 程度

(5) 山形県金峰少年自然の家(本館) 海浜自然の家(分館)

本館 〒997-0369 鶴岡市高坂字杉ヶ沢 54-1 TEL 0235-24-2400 FAX 0235-25-5900
分館 〒999-8531 飽海郡遊佐町菅里字菅野 299 TEL 0234-77-2166 FAX 0234-77-3725

1 基本テーマ

「緑と星と海を求めて」～『本物』『仲間』『自分』を見つめよう～

2 教育目標

自然体験や集団生活体験を通して、感性を豊かにし、社会力を身につけ、自立への意欲を高めることにより、心豊かにたくましく生きる力を育てる。

《子どもたちの具体的な姿》

- 『本物』(自然・文化など)の価値を受け入れる「感性」 → 感じる…「すごい！」
- 『仲間』とともに生活をつくる「社会力」 → 支えあう…「ありがとう！」
- 『自分づくり』につながる「自立への意欲」 → やってみる…「ぼく、やる！」

3 運営方針

心豊かにたくましく生きる力の育成をめざし、本所の特色である宿泊施設と立地環境と人材を最大限に活かした価値ある体験を通して、子どもたちの感動と感謝と意欲にあふれる姿の見える施設運営に努める。

4 運営の重点

(1) 自然の家の特性を生かし、利用目的の達成に向けた研修支援事業の充実

- ①利用目的の明確化を促し、利用者の実態に即した効果的な活動編成と体験活動を支援する。
- ②支援を基底にしつつ自主活動を推奨し、自立的利用を通して達成感を得てもらう。
- ③新しい学力観に基づく能動的学習(探求型学習等)に対応する、庄内の地域素材を活用した学習プログラム開発を推進する。

(2) 今日的課題と利用者ニーズに応じた先導的な主催事業の実施

- ①社会性・課題解決力・たくましさの育成、庄内の自然・文化の理解、指導者養成、学校・幼保の支援、関係機関との連携などの今日的課題とニーズに対応した事業を企画・実施する。
- ②低年齢児やリピーター層の自然体験への関心、身近で気軽な自然体験への関心、自然の家ならではの活動への期待感を取り込んだ活動プログラムを企画・実施する。
- ③発達段階に応じた体験機会を繰り返し提供し、学校・幼保の子ども達の学習支援を充実させる。
- ④自然体験活動に係る成人向け事業を企画実施し、幅広い年代のニーズに応える。

(3) 客観的で即時的な事業評価と直後プランによる改善

- ①利用者アンケート、利用統計、事業反省等を総括分析し、事業の質と利便性向上に努める。

(4) 研修支援や企画実践に関する指導力向上と全職員一体となった誠意ある取り組みの推進

- ①魅力あるプログラム開発やニーズに応じた資料作成に努めるとともに、情報発信を工夫する。
- ②企画力・指導力向上の研修に努めるとともに、指導員・ボランティアの確保と育成に取り組む。
- ③利用状況や整備作業の兼ね合いを踏まえた週単位の所内協力体制を充実させ実践する。

(5) 自然体験の魅力を伝え自然の家の利用を誘う広報活動の充実

- ①事業や利用案内、活動紹介を中心としたHPの充実と各種事業の活動をFBで発信する。
- ②チラシ、ポスター、パンフ、報道機関、口コミ等の情報発信媒体を効果的に活用し、ニーズに即した利用拡大をめざす。

(6) 県民に支持される施設づくり

- ①利用者の視点に立って施設や環境を整備し、開かれた利用しやすい施設をめざす。
- ②安全管理、安全対策、環境整備、情報収集を徹底し、安心して信頼できる施設をめざす。
- ③気象や動植物の動向の把握に努め、体験活動の安全状況に関する正確で迅速な情報提供を行う。

事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数	
異年齢集団の交流の中で自然に親しむ心やたくましさ育てる事業						
わんぱく自然塾 ～春・夏・秋・冬の巻～	オールシーズンキャンプを体験することで、自然の豊かさを感じ、仲間との協調性、自立心、忍耐力を養います。	・山キャンプ活動 ・登山 ・海キャンプ活動 ・ビバーク ・カヌー、いかだ体験 ・環境を生かした野外活動 等	春 5/26(土)～27(日) 夏 7/29(日)～8/4(土) 秋 10/20(土)～21(日) 冬 2/9(土)～10(日)	小4～ 中学生	春夏 秋冬 30人	
わんぱく自然塾 ～ちびっこの巻～	キャンプ基礎体験を通して野外活動の楽しさを感じながら、協調性、自立心、忍耐力を養います。	・テント泊、野外炊飯等の野外活動の基礎体験 ・自然散策等の自然体験活動	9/8(土)～9(日)	小1～ 3年生	30人	
指導者と大人のための研修事業						
金峰 プログラム デザイン講座 I・II・III	利用指導者のプログラム企画力向上を図るため、体験活動や事前相談・利用団体間の活動を調整します。	・プログラム作成のための研修(活動体験・施設見学) ・団体間の活動調整	I 4/19(木) II 5/10(木) III 6/24(日)	利用団体 引率指導者	何人 でも	
海浜 プログラム デザイン講座 I・II			I 5/15(火) II 6/9(土)			
※プログラムデザインに関する相談は、随時応じますのでお気軽に相談ください。						
海浜カヌー 体験デー	「海浜自然の家」人気プログラムのカヌー活動を体験し、参加者との交流を図ります。	・カヌー体験 ・川カヌーツーリング体験	8/18(土)	高校生 ～ 一般成人	20人	
海浜自然の家 第48期指導員 養成講座	指導員の使命と職務内容を理解し、利用者の活動支援ができるよう技能の習得を図ります。	・教育ボランティア講話 ・仲間作り、活動支援の実技講習	9/22(土)	高校3年 ～ 一般成人	15人	
エンジョイ金峯山 登山①②	自然豊かな金峯山登山を通じて、里山の自然に親しむと共に、参加者の交流を図ります。	・金峯山登山	① 5/11(金) ② 10/27(土)	高校生 ～ 一般成人	各20人	
自然・環境への興味を広げ、親と子のふれあいを深める事業						
KINBOW はるフェスタ	里山散策・登山等の活動や森林・河川の環境を考える体験をし、豊かな自然にふれる機会を提供します。	・自然散策やトレッキング ・環境学習や保全活動体験 ・クラフト・食体験・ゲーム 等	4/29(日)	どなた でも	何人 でも	
KAIHIN あきフェスタ			10/6(土)			
KINBOW ふゆフェスタ	冬の遊び体験を通して、家族・仲間とのふれあいの場を提供します。	・雪遊び ・正月の遊び ・冬の風習体験	1/26(土)		88人	
海浜カヌー塾①②	カヌー体験を通して、海や川の自然にふれる機会を提供します。	・カヌー体験 ・カヌーツーリング体験	①海 7/7(土) ②川 7/8(日)	小学生 以上	各30人	
わくわくスターウォッチング(年7回)	月や星を観察することによって天体に対する興味を喚起します。	・天体望遠鏡での月や星の観察、講話	①4/24(火)②5/18(金)③6/22(金) ④8/11(土)⑤8/12(日)⑥9/25(火) ⑦11/9(金)⑧3/22(金)	どなた でも	何人 でも	
はじめての フィッシング	釣りを通して庄内の海の楽しさを感じる機会を提供します。	・海釣り体験	9/29(土)	小中学生と その家族	30人	
KINBOW クラフトフェスタ	クリスマス行事関連のクラフトや自然素材にかかわる楽しいクラフト製作の場を提供します。	・クラフト体験	12/15(土)	どなたでも	何人 でも	
学習支援事業						
金峰 野あそび シリーズ	春さがし 秋さがし 雪あそび	金峰周辺の野山での活動を通して、季節の変化や特色に気付く体験の機会を提供します。	・自然散策や野外ゲーム ・焚き火での焼き芋(秋のみ) ・タイヤチューブすべり	春さがし:4月～5月 秋さがし:9月～11月 雪あそび:1月～2月	幼児～ 小学校 低学年	何人 でも
	海浜 秋あそび	海浜自然の家やその周辺における活動を通して、秋の深まりを感じる体験を提供します。	・焚き火での焼き芋 ・ジオパークで遊ぼう(磯遊び等) ・箕輪鮭孵化場見学 ・ネイチャーゲーム	9月～10月		
小学校生活科および 幼保冬遊び支援事業	小学校生活科、幼稚園・保育園において、冬の遊びや伝統行事の活動や学習を支援します。	・松ぼっくりツリーなどのクラフト ・もちつき ・正月の遊び	11～12月	幼児～ 小学校低学年	何人 でも	
日帰り デイ・キャンプ	様々な体験活動に興味・関心の高い小学校中学年を対象に、金峰・海浜周辺における日帰りの野遊びや手作り体験を通して、学級・学年のよりよい人間関係づくりや豊かな体験活動ができる場を提供します。	・野外ゲーム ・焚き火体験 ・ウッドネーム作り等クラフト ・仲間作りゲーム ・卓上ガス炊飯 ・自然散策	(金峰) 8月20(月)～9月14(金) 10月23(火)～11月9(金) (海浜) 8月28(火)～10月19(金)	庄内地区 の小学校 3・4年生	学年単 位で	
高等学校教育活動 支援事業	学級や生徒会、部活動等で利用する場合、学校から所までのバス送迎を行い、活動を支援します。	・年度初めのクラス作り(自主) ・グループアドベンチャーゲーム ・部活動練習や研修会	11月～4月(海浜自然の家閉館期間中)	庄内地区 の高等学 校	バス定 員44人 以内	

(6) 山形県飯豊少年自然の家

〒999-0605 西置賜郡飯豊町大字添川字関山 3535-33
TEL 0238-74-2331 FAX 0238-72-2342

1 基本テーマ 野性と冒険 (土と緑と太陽と)

自然の中で生き生きとたくましく活動し、未知の体験に進んで取り組む人間の育成

2 教育目標

自然体験や集団宿泊体験などの様々な体験活動を通して「野性味とたくましい冒険心」を培うとともに、社会性や協調性などの「他とかかわる力」の育成に努める。

- (1) 自然に親しみ、自然の優しさや厳しさに触れ、自然を大切にする心や豊かな感性を育てる。
- (2) 集団体験を通して他とかかわりを促進し、コミュニケーション力や自律、自尊感情、思いやり、感謝、感動などの豊かな心を培う。
- (3) 様々な体験活動や交流活動に積極的に挑戦することにより 心身を鍛え、主体的・協同的に行動したり問題を解決したりする力と態度を養う。

☆ スローガン・・・ 『 今、はじまる 発見と感動のとき! 』

- 体験活動への楽しみや期待感の高揚、活動意欲の高揚とやり遂げることへの励まし。
 - 体験活動の過程や結果の振り返りによる感性や豊かな心の高揚、実践力向上など自他の変容の自覚と共有。
 - 「飯少に來れば楽しめる、自分が成長できる」という体験活動の楽しさや大切さ、意義の発信。
- ※来所者への激励と願いのメッセージであり、来所者・ボランティアスタッフ・所員のめあてである。

3 運営方針

- (1) 官民融合の観点に立ち、県と指定管理者が連携協力し、信頼され親しまれる施設運営を共創する。
＜笑顔・誠実・探究・対話協働・安心安全＞
- (2) 多様なニーズと生涯学習の観点に立ち、豊かな学びと感動がある事業の企画・運営に努める。
＜ニーズ・幅広い年齢層・魅力と満足度＞

4 運営の重点及び具体策

- (1) 主催・企画・自主事業の充実
 - 幅広い年齢層に応じ、豊かな心や健やかな体、主体的・協同的な実践力を育む事業の企画運営
 - 価値ある事業の企画運営と魅力あるプログラムの提供により利用者の満足度を高める
 - リピーターと新規利用者を獲得するプログラムの開発<自然体験、親子や利用者間ふれあい>
- (2) 受入事業の充実
 - 学校や関係機関との連携を深め、団体のニーズに応じた事業の企画運営
 - 幅広い年齢層や多様なニーズに対応したプログラムの開発と学びの場の提供により利用者の満足度を高める<自然体験・集団宿泊体験、合宿、施設利用、等>
 - 利用者主体につなぐ「活用セミナー」の運営の工夫<野外炊飯実習の必須、テント設営実習の原則参加>
- (3) 広報活動の充実
 - 体験活動の意義や魅力、啓発に係る発信
 - 各種事業の募集に係る学校、関係機関や諸団体及び報道機関への協力依頼と本所HPによる発信
 - 施設利用の拡充に向けた積極的な広報と管内の学校や関係機関、企業等の訪問
- (4) 危機管理対応の徹底
 - 報告・連絡・相談の徹底と組織対応 ○安全・衛生保持に係る施設内外の日常点検と迅速処理
 - 安全指導の徹底 ○食物アレルギーへの適切な対応 ○所バス運行に係る交通規則の遵守
 - 森づくりビジョン検討会議を踏まえた具体的対応と立入禁止区域の削減対応
- (5) 人的環境の構築
 - 県と指定管理者との連携協力、情報共有を密にした管理運営 ○利用者への丁寧かつ誠意ある対応
 - ボランティアスタッフとの信頼関係の構築 ○高校生・大学生ボランティアの開拓促進と養成
- (6) 改善の推進
 - 利用者、ボランティアスタッフの声を反映した所運営の工夫 ○事業ごとの企画・運営の振り返り
 - 課題の共有と即時対応につなぐ県と指定管理者との管理運営会議の実施
 - 総括と次年度の方向付けを行う評価や運営懇談会の実施

平成30年度 山形県飯豊少年自然の家 事業予定一覧

区分	事業名	ねらい	主な内容	開催期日・期間	参加対象	募集人数		
親子のふれあい事業	自然大好き！いいでクラブ (全4回)	季節に応じた体験活動を通して、親子や仲間との関わりを深め、豊かな感性を育む。	自然体験活動 クラフト活動 調理・炊飯活動	① 5/13(日) ② 11/17(土) ③ 12/ 9(日) ④ 1/14(月)	幼児 小学生 中学生 保護者	各回 100名 程度		
	いいでファミリーキャンプ	野外宿泊体験や炊飯活動を通して、自然の中で親子そろって活動する楽しさを味わうとともに、親子のふれあいを深める。	野外宿泊体験 野外炊飯活動	8/25(土)～26(日)	幼児 小学生 中学生 保護者	10家族 程度		
	親子でチャレンジ！	自然体験活動に親子で一緒に挑戦したり、時には別々の活動に取り組んだりすることで、親子のかかわりを深めるとともに、子どもの自立のきっかけをつくる。	自然体験活動 調理・炊飯活動 宿泊体験	① 9/8(土)・9(日) ② 2/2(土)～3(日)	年長児 小学生 保護者	親子 10組 程度		
	夏のオープンデー	季節に合わせた体験活動や自然物などを活用した体験屋台での活動を通して、親子や仲間とのかかわりを深め、豊かな感性を育む。	体験屋台活動	7/14(土)	どなたでも	200名 程度		
	自然楽校でお祭りだ！			9/30(日)		200名 程度		
自然体験事業	いいでアドベンチャーキッズ ～春キャンプ～	季節に応じた自然体験活動やテント生活などの宿泊体験活動を通して、異年齢の仲間との関わりを深め、豊かな感性とたくましく生きる力を育てる。	自然体験活動 野外宿泊体験 調理・炊飯活動	5/26(土)～5/27(日)	小学3年～ 中学3年 ※夏キャンプのみ 小学4年以上	36名		
	いいでアドベンチャーキッズ ～夏キャンプ～			8/1(水)～8/6(月)		30名		
	いいでアドベンチャーキッズ ～秋キャンプ～			10/13(土)～14(日)		36名		
	いいでアドベンチャーキッズ ～冬の冒険隊～			2/16(土)～17(日)		36名		
	3・4年生のための ～いいでプレキャンプ～	体験活動や同年齢の仲間との交流を通して、学校行事で行われる宿泊体験学習に向けて意欲と関心を高める。	自然体験活動 調理・炊飯活動	3/23(土)	小学3・4年	36名		
感性育成推進事業	めざみの春さがし	春の野山で遊んだり動植物の様子を観察したりして、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	自然観察 Fアスレチック	4月中旬～5月下旬	幼児教育施設 小学校などの 各種団体	1日 2団体 程度		
	夢いっばいどんぐり広場 もくもくやきいも体験	秋の野山で木の実拾いをしたりやきいもをしたりして、秋の爽りを楽しむとともに、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	木の実拾い 自然観察 やきいも体験 クラフト活動	9月上旬～11月上旬				
	うきうき クリスマス＆お正月	クリスマスやお正月の行事にちなんだクラフト活動や昔遊び、もちつき体験などを通して、豊かな感性を育む。	もちつき体験 クラフト活動	11月上旬～12月下旬				
	わくわくスノーランド	冬の自然体験活動を通して雪国ならではの遊びやスポーツを体験するとともに、自然への興味関心を高め豊かな感性を育む。	チューブすべり スノーハイキング	1月中旬～3月上旬				
	夜空を見上げよう	月や星座の観望を通して自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	星座や月の観望 いいで天文台 での活動	6/16(土)			小学生 中学生 保護者	30名 程度
	いいで昆虫ワールド	昆虫採集や標本作りを通して、自然への興味・関心を高め、豊かな感性を育む。	昆虫採集 標本作り	7/1(日)			小学生 中学生 保護者	30名 程度
	アツアツやきいもパーティー	やきいも体験を通して秋の自然に親しみ、親子のふれあいを深める。	やきいも体験	11/3(土)・4(日)			幼児 小学生 保護者	各回 40名 程度
	スノーランドファイナル	チューブすべり体験を通して、冬の自然に親しみ、親子のふれあいを深める。	チューブすべり	3/2(土)・3(日)				各回 50名 程度
指導者・指導員の 研修事業	ボランティアセミナー	自然の家の役割やボランティア活動の意義について理解を深め、指導員としての専門的な技術の向上を図る。	講話、研修	5/12(土)	高校生以上 成人一般			
	活用セミナー(全4回)	集団宿泊体験活動や野外活動などの実施方法について研修し、当所の利用方法について理解を深めていただく。	講話、実習 利用団体調整会	① 4/19(木) ② 5/10(木) ③ 6/10(日) ④ 8/18(土)	施設利用予定 団体の指導者	希望者 全員		
	フライデーセミナー	事前に活動場所を下見したり活動内容について相談を受けたりして、当所の利用方法について理解を深めていただく。	下見、事前相談	毎週金曜日14:00～				
施設特性事業	いきいき体験塾	施設の特性を活かして多様なニーズに対応していくとともに、青少年に限らず幅広い年齢層の利用促進を図る。	各団体の要望 に応じて対応	通 年	中高年対象 の各種団体 (日帰り)	各団体による		
	体験学習サポート事業	施設の特性を活かした学習活動や近隣施設などへの広域学習を提案したり「出前講座」を開催したりして、活動を支援する。	各団体の要望 に応じて対応	通 年	各種団体	各団体による		

※生涯学習推進事業については、指定管理者の自主事業にて計画しております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

※内容によって、参加対象や募集人数を変更する場合があります。

平成30年度神室少年自然の家運営について

基本テーマ

自然と生活と科学

～ 豊かな体験 高まる感性 ～

運営の重点

1. 実のある体験プログラムの提供

- ◇利用者（団体）のねらいやニーズに即した支援
 - ・「ガイドセミナー」、「利用の手引き」の有効活用
 - ・モデル校との共同によるプログラム開発
- ◇対象に応じ、ねらいを明確にした主催、企画事業
 - ・幼児及び親子対象事業の拡充
 - ・「川遊び」体験プログラムの拡充
 - ・大人を対象にした体験プログラム開発

深める



教育目標

自然と生活と科学に関する豊かな体験活動を通じて感性を高め、いのち(自然)をつなぎ、学び(科学)を通して、地域(生活)とつながる青少年の育成をめざす。

運営方針

- ねらいを明確にした企画事業、利用者のねらいに即した指導及び支援を行う。
- 危機管理意識を高くし、安全で魅力的な環境整備に努める。
- 共通認識に立ち、官民一体となったサービス向上に努める。

2. 魅力的な環境づくり(施設・人)

- ◇安全で魅力的な環境整備
 - ・日常的な危機意識と情報の共有化の徹底
 - ・自然素材を生かした遊具の開発及び点検整備
 - ・利用者目線に立った掲示環境の整備
- ◇施設や活動を支える人づくり
 - ・対話重視により、共通認識に立つ場の充実と組織力の強化
 - ・計画的な所内研修の充実と外部研修への参加奨励
 - ・ボランティア指導員の育成と研修の場の充実
 - ・ジュニアボランティアの計画的な育成

高める

3. 利活用拡大に向けた取り組み

- ◇体験活動の意義を伝える広報活動の充実
 - ・「神室から体験の風をおこそう」運動の実施
 - ・地元報道機関の活用及び各種会議等での広報活動
 - ・機関誌、ポスター、リーフレットの作成
- ◇新たな利用者の掘り起こしに向けた取り組み
 - ・季節に応じた体験プログラムの提供
 - ・子育て支援の場として(PTA行事、子ども会、学童保育等)
 - ・生涯学習支援の場として(企業研修、カルチャースクール等)

広げる

職場スローガン

安全な環境 魅力的なプログラム 温かな対応
～ 利用者満足のために ～

基盤をなすもの

<心身の健康>

<協働意識>

<県民視点>

平成30年度山形県神室少年自然の家主催・企画事業一覧

分類	事業名	事業のねらい	事業内容	期日	対象	人数
指導者等研修事業	神室ガイドセミナー	施設、設備の利用の仕方や活動内容の理解を図る。	・施設利用の仕方 ・選択実技研修 ・プログラム検討	4月18日・5月15日・6月19日	利用団体の 引率指導者	計70名 程度
	指導員・ジュニアボランティア研修会・「神室塾」	自然体験活動の基礎技能およびコミュニケーション力を向上させ、施設ボランティアとしての資質を高める。	・自然活動体験 ・リスクマネジメント ・プログラムの企画立案研修 ・アウトドアクッキング	4月29日、1月26日など	高校生～一般成人	各回 10名程度
いのちの教育プログラム事業	アドベンチャーキャンプ2018	大自然の中で長期にわたる野外体験を行うことで、心豊かにたくましく生きる力を育む。	・野外生活 ・最上川ボート下り ・登山 等	7月29日～8月4日 6泊7日	小学4年生～中学3年生	30名
	わんぱく探検隊①②③	季節に応じた様々な野外活動に取り組むことで、自主性や協調性を育む。	・テント泊 ・野外炊飯等 ・トレッキング ・川遊び ・雪中テント泊 ・雪遊び など	①7月7日～8日 ②9月29日～30日 ③1月19日～20日	小学3～4年生	42名ずつ
	伝統文化ふれあいキャンプ	関係老人クラブとともに年末年始の伝承文化活動を体験する。	・年越し・正月の行事体験 ・しめ飾り作り	12月9日	小中学生とその保護者	20組 50名程度
学社連携教育事業	プログラム開発・宿泊モデル事業	対象校にプログラムの立案から支援・協力することで宿泊体験学習の充実を図る。	・プログラム作成 ・支援の検討、実践 ・教育効果の検証	真室川小、富沢小、東法田小、明倫中、金山中、大蔵中、金沢幼稚園	新規に利用する学校や特色ある幼稚園・学校等を指定	
広域連携事業	ボランティア育成事業フィールドワーク共生の森もがみ	「課題発見能力」「課題探求能力」「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「行動力」「社会性」の基礎的な力を身につける。	・事業の企画と運営 ・体験活動の支援	前期 ①6月9日～10日 ②7月7日～8日 後期 ①12月8日～9日 ②1月19日～20日	山形大学の学生	15名 ずつ
子育て支援事業	親子ふれあいキャンプ①	親子での自然体験を通して、自然の素晴らしさを体感したり、親子の絆を深めたりする。	・アウトドアクッキング ・自然体験活動	5月19日	幼児～小学生 とその保護者	25組80名 程度
	親子ふれあいキャンプ②	親子での自然体験を通して、自然の素晴らしさを体感したり、親子の絆を深めたりする。	・雪遊び ・雪中テント泊 ・館内調理	2月9日～10日	幼児～小学生 とその保護者	15組 40名程度
	めんごキャンプ	親子別々の活動を行い、幼児が自立する力、仲間とかわる力を育む。また、親が自然体験や子育てについて考えるきっかけにする。	・自然散策 ・野外炊飯 ・テント泊	6月23日～24日	年長児と小学校低学年児童およびその保護者	15組 40名程度
生涯学習事業	最上の山探訪	登山の体験を通して、大自然の雄大さや神秘性などを体感する。	・親子や初級・中級者向け	10月13日	小学生親子、一般	30名程度
	大人の研修会	調理や創作、自然体験を通して体験活動の良さを体感する。	調理・創作活動・自然体験活動など	11月16日～17日	大学生以上	20名程度
一般開放事業	神室オープンデー		・野外散策 ・山菜とりと調理 など	4月30日	どなたでも	100名
	川遊び親子でカップだれ		・川の活動エリアでのボート遊び ・ダイビング など	7月21日、8月11日、9月1日	小学生とその保護者、高校生以上の青年・成人	45名
	神室フェスティバル	少年自然の家を広く開放し、四季に応じたさまざまな自然体験や野外炊飯活動、人と関わる活動等を通して、体験活動の動機付けを図る。	・野外炊飯 ・トレッキング ・クラフト制作 など	10月28日		100名
	神室ウィンターフェスティバル		・雪遊び ・スノーシューハイキング など	1月27日	どなたでも	100名
	わくわく雪遊びウィンターファイナル		・スノーチューブすべり ・手作りそりすべり ・スノーシューハイキング	3月2日		60名

(8) 山形県生涯学習センター

〒990-0041 山形市緑町一丁目2番36号「遊学館」内

TEL 023-625-6411 FAX 023-625-6415

〒990-0041 山形市緑町一丁目4番28号「洗心庵」

TEL 023-664-2800 FAX 023-664-2816

1 設置目的 県民の生涯にわたる自主的な学習活動を総合的に支援、助長し、県民一人ひとりの心豊かな生活の創造と地域社会の振興並びに地域の活性化を担う人材の育成を図る。

2 運営主体 公益財団法人 山形県生涯学習文化財団

3 基本的機能と役割

本県の生涯学習振興の中核施設として、県民及び県内外の生涯学習関連施設とのネットワークの形成を図る基本的機能を持つとともに、次のような役割を担う。

- (1) 講座・研修等各種生涯学習事業の開発及び実施
- (2) 生涯学習振興に関する調査研究
- (3) 学習情報の整備、提供及び相談
- (4) 学習者相互の交流・研鑽・発表に係る機会及び場の提供並びに支援

4 運営の基本方針

- (1) 関係機関と連携し、県民に親しまれる生涯学習センターの運営を図る。
- (2) 地域学を推進するとともに、県民が主体的に学ぶ機会を提供する。
- (3) 学習情報の整備・充実を図り県民に提供するとともに、調査研究を行う。
- (4) 主体的な学習活動への支援を行うとともに、地域の指導者等人材の育成を図る。

5 事業の考え方

(1) 生涯学習部門

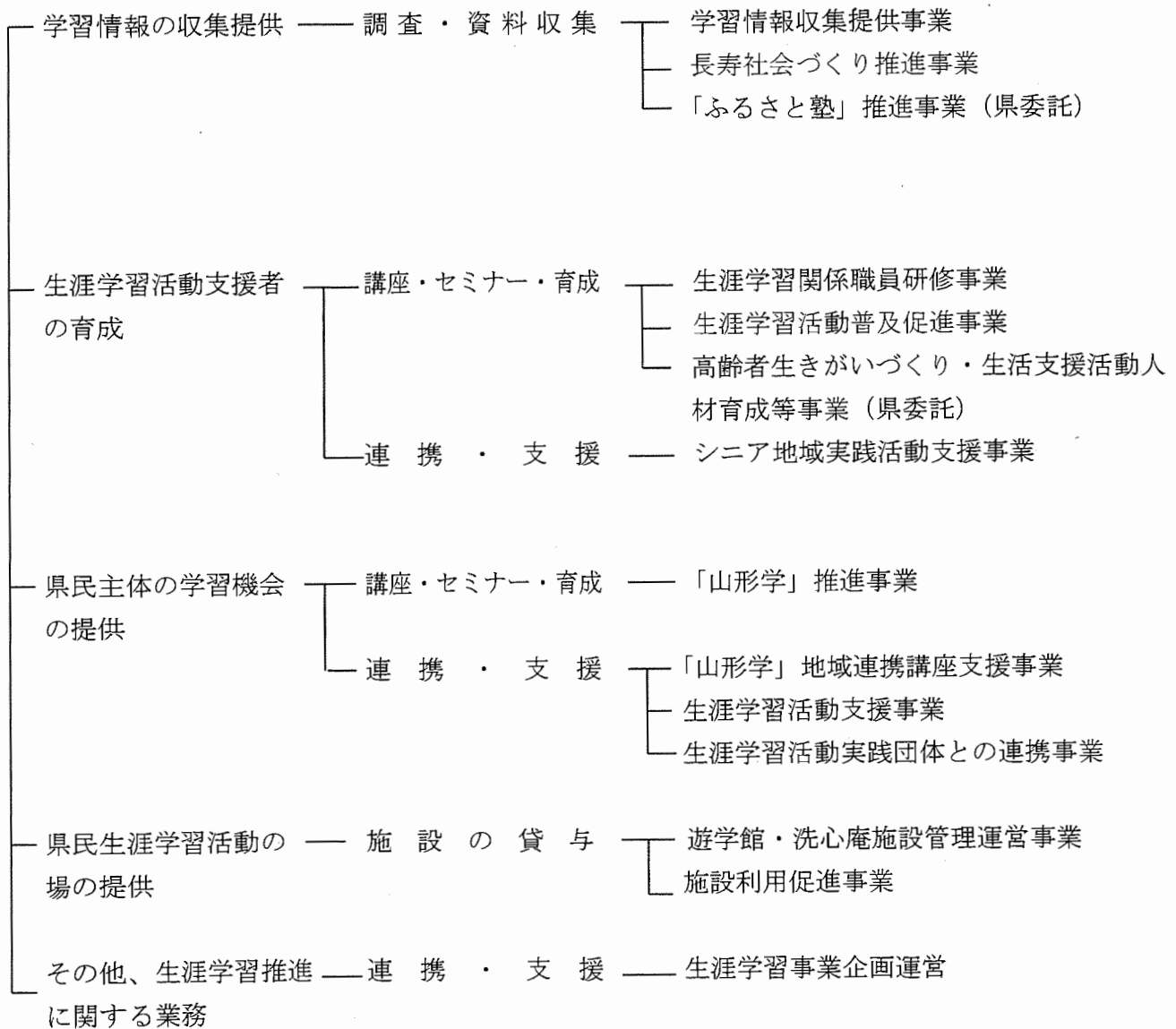
「山形県生涯学習振興計画」に沿って、関係機関とのネットワークを強化しながら学習情報提供の充実を図るとともに、人材育成として市町村社会教育業務担当者研修に加え、地域づくりリーダー育成のための研修を新たに開設するほか、山形県を多様な切り口から学習・研究する「山形学」の推進及び「山形学」地域連携講座支援などの地域学習活動への支援事業を推進する。

(2) 指定管理部門

平成30・31年度に実施される県立図書館大規模改修及び遊学館関連工事の期間中に生涯学習センター・男女共同参画センターの利用制限が生じ、また、完成後は施設利用に変更が生じてくるため、施設利用提供等については工事の進捗に合わせて適切に対応していく。また、引き続き各施設について、県民の利用しやすい環境づくりと県民サービスの向上、施設の利用促進に繋げていく。

6 事業体系

【県民の生涯にわたる学習活動の推進に関する事業】



VI 平成30年度 山形県社会教育委員名簿

No.	氏名	性別	役職	備考
1	あんどう こうき 安藤 耕己	男	山形大学地域教育文化学部地域教育文化学科准教授	学識経験者
2	おだしま たてお 小田島健男	男	元遊佐町教育長 元山形県生涯学習センター学習振興部長	学識経験者
3	こばやし ひろあき 小林 裕明	男	山形新聞社論説委員長	学識経験者
4	さいとう あきら 齋藤 彰	男	元最上教育事務所社会教育課長 元神室少年自然の家所長	社会教育関係
5	さとう ひろゆき 佐藤 博之	男	山形県PTA連合会会長 北日本白衣山形株式会社代表取締役	社会教育関係
6	だいいつう ゆうじ 大通 雄治	男	山形市立千歳小学校長 (山形県連合小学校長会より推薦)	学校教育関係
7	たかはし かずえ 高橋 一枝	女	一般社団法人「とらいあ」常務理事 新庄市立図書館長	社会教育関係
8	たかはし まさきち 高橋 政吉	男	山形市立第二中学校長 (山形県中学校長会より推薦)	学校教育関係
9	たけだ まりこ 武田真理子	女	東北公益文科大学教授	学識経験者
10	たなか ゆうこ 田中 裕子	女	はつらつシニアの情報誌 「えがおdeねっと」編集発行人	社会教育関係
11	つだ ひろし 津田 浩	男	山形県立山形西高等学校長 (山形県高等学校長会より推薦)	学校教育関係
12	にいげき さとみ 新関さとみ	女	県家庭教育アドバイザー さとみの漬物講座企業組合理事長	家庭教育関係
13	にへい ひろみ 二瓶 ひろみ	女	高畠町和田地区学校支援地域本部コーディネーター	社会教育関係
14	ひろき あすみ 廣木明日実	女	特定非営利法人「With優」職員 置賜若者サポートステーション統括コーディネーター	家庭教育関係
15	ゆうき ななせ 結城ななせ	女	「やまがたこどもアトリエ」主宰	社会教育関係

(五十音順 敬称略)

山形県社会教育委員の会議のテーマ

平成13～14年度	「これからの青少年教育施設のあり方」
平成15年度	「第5次山形県教育振興計画」の策定に向けた「これからの社会教育行政のあり方について」
平成16～17年度	「これからの公民館のあり方」
平成18年度	特に設定せず
平成19年度	「山形県立青少年教育施設のあり方」
平成20～21年度	「社会全体の教育力向上に向けた学校・家庭・地域の連携のあり方」
平成22年度	特に設定せず
平成23～24年度	「第4次山形県生涯学習振興計画」の策定
平成25年度	「第4次山形県生涯学習振興計画」進捗状況等に関する検討
平成26～27年度	特に設定せず（社会教育の推進・生涯学習の振興に係る検討）
平成28～29年度	「第5次山形県生涯学習振興計画」の策定に向けて

Ⅶ 統計資料等

(1) 山形県社会教育関係団体一覧

平成 30 年度

団 体 名	団 体 の 目 的	事 業 内 容
山形県社会教育連絡協議会 会長 安藤 耕己 山形市松波 2-8-1 県教育庁文化財・生涯学習課内 TEL 023-630-2872	社会教育法に基づく社会教育委員・公民館の連絡提携を図り、住民のニーズが反映された社会教育のあり方を考究し、もって本県生涯学習の振興に寄与する。	①社会教育委員・公民館職員等の研修に関する事 ②社会教育諸計画立案・公民館事業に関する調査研究 ③社会教育に関する情報や資料の収集、交換に関する事
山形県子ども会育成連合会 会長 山口 四郎 山形市鉄砲町 2-19-68 村山総合支庁本庁舎附属棟内 TEL 023-642-5315	子ども会の健全な育成と福祉の増資を図る。	①子ども会育成連合会相互の連絡と関係機関団体との連携調整 ②子ども会に関する調査研究、情報交換、資料の作成 ③子ども会指導者の養成と確保 ④子ども会活動の安全対策の普及充実 ⑤子どもたちの健全育成のための環境整備の推進
ボーイスカウト山形県連盟 連盟長 吉村 美栄子 山形市旅籠町 2-5-12 山形メディアタワー内 TEL 023-633-7995	日本連盟の目的、基本及び諸規約並びにその方針に従い、地域内のこの運動を推進し、地区相互間並びに同様の目的を有する県連盟地域内の他の団体との友好関係を図る。	目的達成のための指導者養成並びにスカウトの育成に努める。
ガールスカウト山形県連盟 連盟長 片桐 広美 山形市十日町 1-6-6 県保健福祉センター内 TEL 023-623-8909	少女と若い女性にさまざまな体験プログラムを提供し、気づき、学び合いを通して「自ら行動できる女性」「責任ある世界市民」に育つことを目指す。	①少女の心身発達に資する教育の策定と実施 ②指導者の育成 ③広報紙発行 ④関係諸団体との連携提携 ⑤ガールスカウト運動の普及及び広報
山形県連合青年団 団長 小関 新太郎 天童市小路 1-7-8 県青年の家内 TEL 023-654-4545 (青年の家)	豊かな人間性の創造と明るく住みよい地域社会の建設を目指すために県内の地域青年団の連絡協調を図り、その助成発達に努めると共に、平和な民主日本の発展に寄与する。	①団体相互の連絡協調、他団体との連絡協調 ②学習活動の推進、青年教育の推進 ③平和と民主主義の確立に関する事 ④情報宣伝、調査研究、資料の提供斡旋 ⑤運動及び諸行事の実施
山形県婦人連盟 会長 五十嵐 雪子 山形市鉄砲町 2-19-68 村山総合支庁本庁舎附属棟内 TEL 023-622-0441	加盟団体の連絡協調と育成発展を図り、婦人の地位を向上し、民主的な明るい社会の建設につとめ、豊かな生活を創造し社会の福祉を増進し、その成果を結集して文化の発展に寄与する。	①加盟団体との連絡並びに育成 ②加盟団体に対する情報及び資料の提供と機関紙発行 ③各種他団体並びに県外及び全国婦人団体との連絡提携 ④理事会において決定する大会並びに運動及び事業 ⑤本連盟の所管する施設運営
山形県 P T A 連合会 会長 佐藤 博之 山形市十日町 1-6-6 県保健福祉センター内 TEL 023-631-0055	県内各 P T A との連絡を密にして本県教育の振興と児童生徒の健全な成長を図る。	①児童生徒の健全育成事業の推進 ②各都市 P T A との連絡提携、活動推進 ③ P T A に関する諸問題の調査、研究と広報活動 ④研修活動の助成 ⑤各県 P T A との交流 ⑥教育関係機関ならびに諸団体との連絡提携
山形県高等学校 P T A 連合会 会長 細谷 隆良 寒河江市大字西根字石川西 355 村山総合支庁西村山地域振興局内 TEL 0237-85-0070	県下公立高等学校の P T A の連絡を密にして教育の振興を図る。	①加盟 P T A の助成並びに相互の連絡 ②教育に関する研究調査 (健全育成、進路対策、調査広報、その他) 並びに研修
山形県特別支援学校 P T A 連合会 会長 石川 正志 酒田市宮海字新林 3 0 7 番地 県立酒田特別支援学校内 TEL 0234-34-2026	県内 P T A の連絡を密にして、障がい児教育の振興に寄与する。	①単位 P T A 連絡提携及び活動促進 ②単位 P T A 相互の研修 ③単位 P T A 会長相互の連絡・研修 ④県教育委員会及び関係官庁に対する意見の具申 ⑤関係諸団体との連絡提携

(注)「団体の目的」及び「事業内容」は団体の規約等による

(2) 青少年教育施設一覧

(平成30年4月現在)

No.	名 称	住 所	電 話		F A X		設置者	所 管
			事業開始	宿泊定員	キャンプ 場定員	建物 総面積		
1	山形県青年の家	〒994-0032 天童市小路1-7-8	023-654-4545		023-652-2007		山形県	教育委員会
			S42	214	—	3,677		
2	山形県朝日少年自然の家	〒990-1101 大江町大字左沢字楯 山2523-5	0237-62-4125		0237-62-4126		山形県	教育委員会
			S49	200	200	3,625		
3	山形県金峰少年自然の家	〒997-0369 鶴岡市大字高坂字 杉ヶ沢54-1	0235-24-2400		0235-25-5900		山形県	教育委員会
			S51	200	300	3,955		
4	山形県金峰少年自然の家 海浜自然の家	〒999-8531 遊佐町大字菅里字菅 野299	0234-77-2166		0234-77-3725		山形県	教育委員会
			S46	210	180	3,806		
5	山形県飯豊少年自然の家	〒999-0605 飯豊町大字添川字関 山3535-33	0238-74-2331		0238-72-2342		山形県	教育委員会
			S56	200	300	4,181		
6	山形県神室少年自然の家	〒999-5301 真室川町大字川ノ内 字水上山3414-5	0233-62-2611		0233-62-2613		山形県	教育委員会
			S60	200	180	3,868		
7	山形市少年自然の家	〒990-0361 山辺町大字畑谷字板 橋3725	023-643-8533		023-643-8574		山形市	教育委員会
			S54	216	410	3,822		
8	徳良湖自然研修センター	〒999-4441 尾花沢市大字延沢 3636-13	0237-22-0550		0237-22-0550		尾花沢市	商工観光課
			S61	40	100	1,848		
9	米沢市青年の家	〒992-0012 米沢市金池3-1-14	0238-21-6111		0238-21-6926		米沢市	教育委員会
			S50	60	—	1,085		
10	米沢市児童会館	〒992-0052 米沢市丸の内1-3-47	0238-23-0161		0238-21-7494		米沢市	教育委員会
			S58	—	—	1,716		
11	鶴岡市大鳥自然の家	〒997-0622 鶴岡市大鳥字寿岡 112	0235-55-2946		0235-55-2946		鶴岡市	教育委員会
			S61	100	130	1,618		
12	大中島自然ふれあい館	〒999-6609 庄内町立谷沢字大谷 1-3	0234-59-2225		0234-59-2225		庄内町	教育委員会
			H14	—	50	1,564		
13	ひらた生涯学習センター	〒999-6741 酒田市北俣字仁助新 田31-1	0234-54-2211		0234-54-2418		酒田市	教育委員会
			H17	80	—	1,630		
14	しらい自然館	〒999-8304 遊佐町白井新田字見 晴野21	0234-72-2069		0234-72-2081		遊佐町	企画課
			H18	64	—	1,870		

(3) 山形県内図書館一覧

(平成30年4月現在)

番号	図書館名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号	読み聞かせ サークル登録数
1	山形県立図書館	990-0041	山形市緑町1-2-36	023-631-2523	023-625-6520	—
2	山形市立図書館	990-0035	山形市小荷駄町7-12	023-624-0822	023-624-0823	6
3	上山市立図書館	999-3143	上山市二日町10-25	023-677-0850	023-677-0826	1
4	天童市立図書館	994-0013	天童市老野森1-2-1	023-654-2440	023-654-2990	1
5	中山町立図書館	990-0401	中山町大字長崎8038-9	023-662-6688	023-662-6689	3
6	寒河江市立図書館	991-0021	寒河江市中央 1-7-14	0237-86-1662	0237-86-1663	13
7	河北町立中央図書館	999-3513	河北町谷地所岡 3-1-10	0237-72-2906	0237-72-2966	1
8	西川町立図書館	990-0703	西川町大字間沢280	0237-74-3131	0237-74-3219	2
9	朝日町立図書館	990-1442	朝日町大字宮宿2265	0237-67-2118	0237-67-3375	1
10	大江町立図書館	990-1163	大江町大字本郷丁373-1	0237-62-3666	0237-62-3667	1
11	村山市立図書館	995-0034	村山市楯岡五日町14-20	0237-55-2833	0237-55-7251	2
12	東根市図書館	999-3730	東根市中央南1-7-3	0237-53-0227	0237-42-1295	2
13	尾花沢市民図書館	999-4225	尾花沢市若葉町1-8-25	0237-22-3746	0237-24-0093	3
14	大石田町立図書館	999-4112	大石田町緑町28番地	0237-35-3877	0237-35-3877	3
15	新庄市立図書館	996-0071	新庄市小田島町4-21	0233-22-2189	0233-23-6183	14
16	市立米沢図書館	992-0045	米沢市中央1-10-6	0238-26-3010	0238-26-3012	1
17	南陽市立図書館	999-2211	南陽市赤湯791-1	0238-43-2219	0238-43-2340	3
18	高島町立図書館	992-0351	高島町大字高島426	0238-52-4493	0238-52-4493	2
19	川西町立図書館	999-0121	川西町大字上小松1037-1	0238-46-3311	0238-46-3313	2
20	長井市立図書館	993-0004	長井市神明町3-7	0238-88-2535	0238-88-1051	1
21	白鷹町立図書館	992-0831	白鷹町大字荒砥甲833	0238-87-0217	0238-85-2183	1
22	鶴岡市立図書館	997-0036	鶴岡市家中新町14-7	0235-25-2525	0235-25-2526	8
23	庄内町立図書館	999-7781	庄内町余目字三人谷地59-1	0234-43-3039	0234-43-4762	1
24	酒田市立中央図書館	998-0034	酒田市中央西町2-59	0234-24-2996	0234-24-2980	2
25	遊佐町立図書館	999-8301	遊佐町遊佐字鶴田 30-1	0234-72-5300	0234-72-5301	9

(4) 山形県内博物館一覧

平成30年4月1日現在

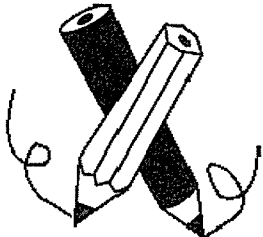
① 博物館法で登録されたもの

番号	名称	所在地	展示	設置者	開館年月日	登録年月日
1	山形県立博物館	山形市霞城町1-8 Tel. 023-645-1111	総合	山形県	昭和 46. 4. 1	昭和 46. 5. 27
2	一般財団法人 掬粹巧芸館	川西町中小松2911 Tel. 0238-42-3101	美術	一般財団法人 掬粹巧芸館	昭和 7. 4. 6	昭和 27. 3. 10
3	公益財団法人 致道博物館	鶴岡市家中新町10-18 Tel. 0235-22-1199	歴史	公益財団法人 致道博物館	昭和 25. 6. 14	昭和 27. 3. 10
4	稽照殿(上杉神社)	米沢市丸の内1-4-13 Tel. 0238-22-3189	歴史	宗教法人 上杉神社	大正 12. 4. 1	昭和 27. 3. 10
5	公益財団法人 蟹仙洞	上山市矢来4-6-8 Tel. 023-672-0155	美術	公益財団法人 蟹仙洞	昭和 26. 9. 1	昭和 27. 3. 10
6	出羽三山歴史博物館	鶴岡市羽黒町手向字羽黒山33 Tel. 0235-62-2355	歴史	宗教法人 出羽三山神社	大正 4. 7. 1	昭和 27. 3. 10
7	公益財団法人 山形美術館	山形市大手町1-63 Tel. 023-622-3090	美術	公益財団法人 山形美術館	昭和 39. 8. 20	昭和 38. 12. 12
8	公益財団法人 本間美術館	酒田市御成町7-7 Tel. 0234-24-4311	美術	公益財団法人 本間美術館	昭和 22. 5. 13	昭和 40. 6. 24
9	米沢市上杉博物館	米沢市丸の内1-2-1 Tel. 0238-26-8000	総合	米沢市	昭和 42. 6. 13	昭和 42. 6. 13
10	金峯山博物館	鶴岡市青龍寺字金峯1 Tel. 0235-23-7863	総合	宗教法人 金峯神社	昭和 52. 5. 21	昭和 52. 9. 28
11	公益財団法人 宮坂考古館	米沢市東1-2-24 Tel. 0238-23-8530	歴史	公益財団法人 宮坂考古館	昭和 48. 3. 28	昭和 52. 11. 8
12	公益財団法人 斎藤茂吉記念館	上山市北町字弁天1421 Tel. 023-672-4358	歴史	公益財団法人 斎藤茂吉記念館	昭和 43. 9. 1	昭和 60. 1. 18
13	公益財団法人 出羽桜美術館	天童市一日町1-4-1 Tel. 023-654-5050	美術	公益財団法人 出羽桜美術館	昭和 63. 7. 15	平成 元. 6. 22
14	鶴岡アートフォーラム	鶴岡市馬場町13-3 Tel. 0235-29-0260	美術	鶴岡市	平成 17. 8. 27	平成 19. 8. 27

② 博物館法で相当施設と指定されたもの

番号	名称	所在地	展示	設置者	開館年月日	登録年月日
1	山形大学附属博物館	山形市小白川町1-4-12 Tel. 023-628-4930	総合	山形大学	昭和 27. 4. 17	昭和 27. 4. 17
2	天童市美術館	天童市老野森1-2-2 Tel. 023-654-6300	美術	天童市	平成 2. 10. 4	平成 13. 3. 15
3	山寺芭蕉記念館	山形市大字山寺字南院4223 Tel. 023-695-2221	歴史	山形市	平成 元. 3. 27	平成 25. 2. 14
4	最上義光歴史館	山形市大手町1-53 Tel. 023-625-7101	歴史	山形市	平成 元. 9. 25	平成 25. 2. 14
5	山形市野草園	山形市神尾832-3 Tel. 023-634-4120	植物	山形市	平成 5. 4. 18	平成 26. 10. 9

MEMO



(5) 各市町村社会教育主管課一覽

①教育委員会

(平成30年4月現在)

No.	市町村名	課(係)名	郵便番号	住 所	電 話	F A X
1	山形市	社会教育青少年課	990-8540	山形市旅籠町2-3-25	023-641-1212	023-624-8443
2	上山市	生涯学習課	999-3192	上山市河崎1-1-10	023-672-1111	023-672-3001
3	天童市	生涯学習課	994-8510	天童市老野森1-1-1	023-654-1111	023-654-3355
4	山辺町	教育課	990-0392	山辺町緑ヶ丘5	023-667-1115	023-667-1116
5	中山町	教育課	990-0401	中山町大字長崎6010	023-662-2235	023-662-5440
6	寒河江市	生涯学習課	991-0003	寒河江市大字西根字石川西333	0237-86-5111	0237-86-2201
7	河北町	生涯学習課	999-3511	河北町谷地字みどり町3-2	0237-71-1111	0237-71-1110
8	西川町	生涯学習課	990-0703	西川町大字間沢280	0237-74-3131	0237-74-3219
9	朝日町	教育文化課	990-1442	朝日町大字宮宿2265	0237-67-2118	0237-67-3375
10	大江町	教育文化課	990-1163	大江町大字本郷丁373-1	0237-62-3666	0237-62-3667
11	村山市	生涯学習課	995-8666	村山市中央1-3-6	0237-55-2111	0237-55-2155
12	東根市	生涯学習課	999-3795	東根市中央1-1-1	0237-42-1111	0237-43-1176
13	尾花沢市	社会教育課	999-4225	尾花沢市若葉町1-8-25	0237-22-1111	0237-24-0093
14	大石田町	教育文化課	999-4112	大石田町緑町2 8番地	0237-35-2111	0237-35-3811
15	新庄市	社会教育課	996-8501	新庄市沖の町10-37	0233-22-2111	0233-23-5600
16	金山町	教学課	999-5402	金山町大字金山662-1	0233-52-2902	0233-52-2903
17	最上町	教育文化課	999-6101	最上町大字向町644	0233-43-2111	0233-43-2345
18	舟形町	教育課	999-4601	舟形町舟形126	0233-32-2246	0233-32-3326
19	真室川町	教育課	999-5312	真室川町大字新町233-1	0233-62-2305	0233-62-2306
20	大蔵村	生涯学習係	996-0212	大蔵村大字清水2620	0233-75-2323	0233-75-2336
21	鮭川村	教育課	999-5201	鮭川村大字京塚1324-2	0233-55-3051	0233-55-3053
22	戸沢村	共育課	999-6313	戸沢村大字名高1593-86	0233-72-2304	0233-72-2307
23	米沢市	社会教育・体育課	992-0012	米沢市金池3-1-14	0238-21-6111	0238-21-6926
24	南陽市	社会教育課	999-2292	南陽市三間通436-1	0238-40-3211	0238-40-3388
25	高畠町	社会教育課	992-0392	高畠町大字高畠435	0238-52-4487	0238-52-5043
26	川西町	生涯学習課	999-0214	川西町大字吉田4690	0238-44-2843	0238-44-2261
27	長井市	文化生涯学習課	993-0085	長井市高野町2-7-37	0238-84-7677	0238-88-5883
28	小国町	生涯学習担当	999-1352	小国町大字岩井沢704	0238-62-2141	0238-62-2143
29	白鷹町	生涯学習・文化振興係	992-0892	白鷹町大字荒砥甲833	0238-85-2111	0238-85-2183
30	飯豊町	社会教育課	999-0604	飯豊町大字椿3622	0238-72-3111	0238-72-3163
31	鶴岡市	社会教育課	997-0346	鶴岡市上山添字文栄100	0235-57-4866	0235-57-4886
32	庄内町	社会教育課	999-6601	庄内町狩川字大釜22	0234-56-3320	0234-56-3222
33	三川町	教育課社会教育係	997-1301	三川町大字横山字西田52-1	0235-35-7040	0235-66-4508
34	酒田市	社会教育文化課	998-0034	酒田市中央西町2-59	0234-24-2993	0234-24-5780
35	遊佐町	教育課社会教育係	999-8301	遊佐町遊佐字鶴田52-2	0234-72-2236	0234-71-1222

②首長部局（生涯学習）

（平成30年4月現在）

No.	市町村名	課（係）名	郵便番号	住 所	電 話	F A X
1	山形市					
2	上山市					
3	天童市	文化スポーツ課	994-8510	天童市老野森1-1-1	023-654-1111	023-653-0744
4	山辺町					
5	中山町					
6	寒河江市					
7	河北町					
8	西川町					
9	朝日町					
10	大江町					
11	村山市					
12	東根市					
13	尾花沢市					
14	大石田町					
15	新庄市					
16	金山町					
17	最上町					
18	舟形町					
19	真室川町					
20	大蔵村					
21	鮭川村					
22	戸沢村					
23	米沢市					
24	南陽市					
25	高畠町					
26	川西町					
27	長井市					
28	小国町					
29	白鷹町					
30	飯豊町					
31	鶴岡市	コミュニティ推進課	997-0035	鶴岡市馬場町9-25	0235-25-2111	0235-25-2997
32	庄内町					
33	三川町					
34	酒田市	まちづくり推進課	998-0043	酒田市本町2-2-45	0234-26-5725	0234-26-4911
35	遊佐町	企画課	999-8301	遊佐町遊佐字舞鶴211	0234-72-3311	0234-72-3310

(6) 社会教育委員等設置状況

(平成30年4月現在)

No.	市町村名	社会教育委員			公民館運営審議会委員 ()は社教委員兼務数			公民館 運営 審議会 設置数	図書館協議会 委員			社会教育主事						社会教育指導員			
		計	男	女	計	男	女		計	男	女	有資格者・ 発令あり(注1)			その他(注2)			計	男	女	
												計	男	女	計	男	女				
1	山形市	15	10	5					12	6	6	1	1								
2	上山市	14	10	4					8	4	4							2		2	
3	天童市	15	10	5	190	(3)	156	34	13						1	1					
4	山辺町	10	6	4								1	1		1	1					
5	中山町	11	9	2					7	2	5				1	1		1		1	
6	寒河江市	15	13	2	8	(3)	7	1	1	10	5	5	1	1				6		6	
7	河北町	11	6	5	38	(11)	24	14	4						2	2					
8	西川町	12	10	2	90		78	12	13						1	1					
9	朝日町	7	5	2	15		9	6	3						1	1					
10	大江町	10	7	3											1	1		2	1	1	
11	村山市	15	10	5	15	(15)	10	5	1	6	4	2	1	1	1		1				
12	東根市	15	10	5	90	(15)	66	24	8	8	2	6									
13	尾花沢市	16	10	6	16	(16)	10	6	1	10	6	4	1	1							
14	大石田町	12	11	1	12	(12)	11	1	1	6	4	2	1	1							
	村山計	178	127	51	474	(75)	371	103	45	67	33	34	6	6		9	8	1	11	7	4
15	新庄市	9	6	3	14		11	3	2	5	2	3			1	1					
16	金山町	10	6	4	10	(10)	6	4	1				2	2	1		1	1	1	1	
17	最上町	10	7	3	10	(10)	7	3	1				2	2				1		1	
18	舟形町	9	8	1	9	(9)	8	1	1				1	1							
19	真室川町	11	8	3	11	(11)	8	3	1								2			2	
20	大蔵村	11	8	3	11	(11)	8	3	1				1	1				1		1	
21	鮭川村	10	6	4	10	(10)	6	4	1								2	1		1	
22	戸沢村	6	5	1	6	(6)	5	1	1				1	1							
	最上計	76	54	22	81	(67)	59	22	9	5	2	3	7	7	2	1	1	7	1	6	
23	米沢市	20	13	7	20	(20)	13	7	1	15	9	6			3	2	1				
24	南陽市	10	7	3						5	2	3	1	1	1		1				
25	高畠町	10	6	4	10	(10)	6	4	1	5	3	2	2	1	1			1		1	
26	川西町	10	6	4						5	2	3			2	2					
27	長井市	12	10	2						8	5	3									
28	小国町	10	6	4	10	(10)	6	4	1									1		1	
29	白鷹町	10	7	3						10	4	6									
30	飯豊町	9	7	2	61		46	15	5												
	置賜計	91	62	29	101	(40)	71	30	8	48	25	23	3	2	1	6	4	2	2	1	1
31	鶴岡市	20	15	5	10	(2)	6	4	1	13	4	9	3	2	1	1		1	2		2
32	庄内町	15	8	7						7	5	2			4	3	1				
33	三川町	15	14	1	15	(15)	14	1	1									3		3	
34	酒田市	16	12	4	11		8	3	1	11	4	7	2	1	1			5	1	4	
35	遊佐町	10	7	3						7	4	3						1		1	
	庄内計	76	56	20	36	(17)	28	8	3	38	17	21	5	3	2	5	3	2	11	1	10
	合計	421	299	122	692	(199)	529	163	65	158	77	81	21	18	3	22	16	6	31	10	21

(注1) 「有資格者・発令あり」とは、社会教育主事有資格者で、かつ発令され、市町村教育委員会に社会教育主事として任用されている者をいう。

(注2) 「その他」とは、①社会教育主事取得要件の中で、勤務年数要件を満たさないなどの理由で発令されていない者、②有資格者であるが社会教育主事を発令されていない者をいう。

※無資格(社会教育主事資格を取得しない)の社会教育主事補はどちらにもカウントしない。

(7) 社会教育関係団体等の状況

(平成30年4月現在)

No.	関係団体	地域青少年 ボランティアサークル		子ども会育成会 (△は、一部組織・加盟等)			青年団		婦人会 (△は、一部組織・加盟等)			
		サークル数	会員数	会数	市町村 連合	県連加入	団体数	団員数	会数	市町村 連合	県婦連 加入	県婦連 会員数
1	山形市	2	31	397	○	○	1	48				
2	上山市	1	12	76	○	○						
3	天童市	1	10	117	○	○	4	62	35	△	△	2,731
4	山辺町	1	20	61	○	○	1	15				
5	中山町	1		31	—	○			1	—	○	17
6	寒河江市	1	7	130	○	○						
7	河北町	1	5	76	○	○	1	15	70	○	—	1,250
8	西川町	1		24					5	○	○	358
9	朝日町	2	14	35	○	○						
10	大江町	2	19	37	○	○						
11	村山市			104	○	—			4	○	○	1,300
12	東根市	1		113	○	○						
13	尾花沢市	2	18	62					1	—	—	—
14	大石田町	1	32	34			16	170	1	○	—	—
村山計		17	168	1,297	10	10	23	310	117	5	4	5,656
15	新庄市	3	19									
16	金山町	1	16	31			1	13	17	○	○	220
17	最上町	1	5	39								
18	舟形町	1	7	25								
19	真室川町	1	14	43					4	○	—	
20	大蔵村	1	3	19					1	—	○	27
21	鮭川村	2		9	○	○			9		○	90
22	戸沢村	1	5	17					5	○	—	—
最上計		11	69	183	1	1	1	13	36	3	3	337
23	米沢市	2	78	45	○	○	7	446				
24	南陽市	5	48	122	○	—	2	28	4	○	○	70
25	高畠町	1	75	110	○	—	6	94				
26	川西町	3	59	97			1	30	1	—	○	38
27	長井市	3	30	118	○	○						
28	小国町	1	12	31			1	19	1	—	○	39
29	白鷹町	1	58	69	○	○			2	—	—	—
30	飯豊町	1		49	—	○	13	197	1	—	○	35
置賜計		17	360	641	5	4	30	814	9	1	4	182
31	鶴岡市	4	46	370	△	△	15	181	54	△	△	848
32	庄内町	7	112	110					1	○	○	32
33	三川町	1	24	27	○	—						
34	酒田市	4	30	147	○	○			3	—	○	473
35	遊佐町	1	9	77	○	—			6	—	—	—
庄内計		17	221	731	4	2	15	181	64	2	3	1,353
合計		62	818	2,852	20	17	69	1,318	226	11	14	7,528

(8) 社会教育施設等の状況

(平成30年4月現在)

No.	市町村名	公民館数(注1)			公民館職員数									公民館 類似 施設 (注2)	コミュニ ティセ ンター 等 (注3)	青少年 教育 施設	図書館 (図書室)		
		計	内 数			中 央			地 区			分 館						公民館 利用者数 (28年度)	
			中央	地区	分館	館長	主事	その他	館長	主事	その他	館長	主事						その他
1	山形市	8		8				8	23	14				371,929		20	1	1(分館4)	
2	上山市	10		10				10		28				90,451				1	
3	天童市	105		13	92			13	13	12	92	92		192,794				1	
4	山辺町	10	1	6	3	1	3	5	6	3	8	3		109,440		1		(1)	
5	中山町	2	1	1		1	7		1					31,649		2		1	
6	寒河江市	66	1	4	61	1		6	4	6	4	61	61	132,044				1	
7	河北町	85	1	4	80	1			3		6	80	80	42,957		1		1	
8	西川町	14	1	13		1	1		13	13	13			40,627				1	
9	朝日町	4	1	3		1	5	1	3	2	3			32,190				1	
10	大江町	3	1	2		1		6	2		8			44,574		4		1	
11	村山市	1	1			1								—		8		1	
12	東根市	8	1	7		1	11	2	7		22			118,343				1	
13	尾花沢市	72	1	5	66	1	2	1	5	5	5			77,868				1	
14	大石田町	31	1		30	1	1	4				30	30	29,590		11		1	
	村山計	419	11	76	332	11	30	25	75	65	123	266	263	1,314,456		47	1	12(6)	
15	新庄市	2		2					2		2			14,318				1	
16	金山町	1	1			1		9						12,710				(1)	
17	最上町	44	1	3	40	1		4	3		4	40		37,649				(1)	
18	舟形町	1	1			1		4						5,553		4		(1)	
19	真室川町	59	1	2	56	1		6	2			56		19,852				(1)	
20	大蔵村	1	1			1		9						16,269				(1)	
21	鮭川村	1	1			1		6						16,276				(1)	
22	戸沢村	1	1			1		10						21,225				(1)	
	最上計	110	7	7	96	7		48	7		6	96		143,852		4		1(7)	
23	米沢市	1	1			1		11						64,128	17		2	1	
24	南陽市	8		8					8	8	8			105,451				1	
25	高島町	6	1	5		1	1	9	5	1	11			103,769		1		1	
26	川西町	1	1			1								30,836		7		1	
27	長井市	3		3					3	11				70,032		3		1	
28	小国町	2		2										1,346	1			(1)	
29	白鷹町	1	1			1		3						11,148		6		1	
30	飯豊町	67		5	62				5	10		62		34,714		1		(1)	
	置賜計	89	4	23	62	4	1	23	21	30	19	62		421,424	18	18	2	6(2)	
31	鶴岡市	1	1			1		14						102,946		35	1	1(分館5)	
32	庄内町	9	1	8		1	3		8	22				107,687		1	1	1(分館1)	
33	三川町	1	1			1	3	5						28,759				(1)	
34	酒田市	1	1			1		8						141,458		35	1	1(分館4)	
35	遊佐町													—	1	6	1	1	
	庄内計	12	4	8		4	6	27	8	22				380,850	1	77	4	5(10)	
	合 計	630	26	114	490	26	37	123	111	117	148	424	263	2,260,582	19	146	7	24(25)	

(注1) 「公民館(中央、地区、分館)」とは、社会教育法第24条に基づき市町村条例で規定された施設をいう。

(注2) 「公民館類似施設」とは、市町村教育委員会が所管する社会教育法第42条に規定する施設をいう。

※社会教育調査(文部科学省)における回答施設数

(注3) 「コミュニティセンター等」とは、市町村が条例で定め、市町村首長部局が所管する地域活動の拠点施設をいう。ただし、全ての住民を対象とする施設を対象とし、高齢者コミュニティセンター等利用者が限定される施設は除く。

(9) 生涯学習推進・学社連携組織等一覧

(平成30年4月現在)

No.	市町村	生涯学習推進組織等 ()は設置年度 ※名称の市町村名は省略		
		行政関係者のみで構成	行政及び有識者等で構成	委員は行政以外で構成
1	山形市			
2	上市市			
3	天童市	地域づくり推進行政会議(H9)	地域づくり推進委員会(H12)	各地域づくり委員会(H9)
4	山辺町			
5	中山町			
6	寒河江市			
7	河北町			
8	西川町			
9	朝日町			
10	大江町			
11	村山市			
12	東根市	生涯学習推進本部(H4)		生涯学習地区民会議(H4)
13	尾花沢市		生涯学習推進協議会(H3)	生涯学習地区推進会議(H3)
14	大石田町			
村山計				
15	新庄市			
16	金山町			
17	最上町		生涯学習のまちづくり推進本部(H2)	地域教育協議会(H20)
18	舟形町			
19	真室川町	生涯学習推進本部(H18)	生涯学習推進検討委員会(H18)	
20	大蔵村			
21	鮭川村			
22	戸沢村	生涯学習推進連絡協議会(H5)	地域と学校づくり推進会議(H12)	戸沢村共育推進研究所(H15)
最上計				
23	米沢市			生涯学習振興委員会(H27)
24	南陽市	生涯学習推進本部(H12)		
25	高畠町	生涯学習推進本部(H12)		生涯学習推進懇話会(H12)
26	川西町		生涯学習推進本部(H8)	
27	長井市	教委内生涯学習担当者会議(H11)		
28	小国町			
29	白鷹町	生涯学習推進本部(S52)		
30	飯豊町			
置賜計				
31	鶴岡市			
32	庄内町			
33	三川町	生涯学習推進本部(H10)		
34	酒田市	生涯学習推進委員会(H24)		
35	遊佐町	生涯学習推進本部(H9)		
庄内計				
合計				

(平成30年4月現在)

No.	市町村	生涯学習振興計画等 ()は作成年度	生涯学習に資する計画等を 教育全般に関する計画とは 別に策定	生涯学習に資する計画等を 策定せず、教育全般に関する 計画等を策定し、その中で生涯 学習について規定
1	山形市	生涯学習基本構想(H5)		○
2	上市市	生涯学習基本構想(H15)	○	
3	天童市	生涯学習推進基本構想(H8)	○	
4	山辺町	社会教育事業計画書(H7)		○
5	中山町	社会教育事業計画書(H7)		○
6	寒河江市	寒河江市教育振興計画(H27第2次)		○
7	河北町	河北町教育振興計画(H28第2次)		○
8	西川町	生涯学習計画(H23)	○	
9	朝日町	生涯学習計画(H14) 教育振興計画(H29)		○
10	大江町	大江町教育振興計画(H27第2次)		○
11	村山市	生涯学習基本計画(H14)	○	
12	東根市	生涯学習実施計画(H4)、生涯学習プログラム(H7)	○	
13	尾花沢市			
14	大石田町			
村山計			5	7
15	新庄市	新庄市長期教育プラン(H17)		○
16	金山町			
17	最上町			
18	舟形町			
19	真室川町	第2次真室川町生涯学習基本構想(H29)改訂版	○	
20	大蔵村			
21	鮭川村	第2次生涯学習振興計画(H24)	○	
22	戸沢村	戸沢村共育プラン(H13)		○
最上計			2	2
23	米沢市	第2次生涯学習振興計画(H24)	○	
24	南陽市	第5次南陽市教育振興計画(H24)		○
25	高畠町	第4次生涯学習推進基本計画(H29)	○	
26	川西町	生涯学習推進計画(H12)、同後期計画(H27)	○	
27	長井市	長井市教育振興計画(H25)		○
28	小国町	生涯学習推進計画(H25)	○	
29	白鷹町	生涯学習振興計画(H29)	○	
30	飯豊町			
置賜計			5	2
31	鶴岡市			
32	庄内町	庄内町教育振興基本計画(H27.10)		
33	三川町	生涯学習基本構想(H9)	○	
34	酒田市	生涯学習推進計画(H25)	○	
35	遊佐町	生涯学習基本構想・基本計画(H8)同後期計画(H14)	○	
庄内計			3	0
合計			15	11

(平成30年4月現在)

No.	市町村	生涯学習宣言都市 ()は宣言年度	子ども読書活動 推進計画 策定状況	学校教育・社会教育の連携推進組織名	生涯学習・学社連携 校務分掌設置学校		
					小学校	中学校	義務教育 学校
1	山形市		H18.3策定				
2	上市市		H25.1策定		3	2	
3	天童市		H27.3策定	生涯学習推進委員会	12	4	
4	山辺町		-				
5	中山町		H26.4策定	小中連携委員会	2	1	
6	寒河江市		-		10	3	
7	河北町		H27.3策定		6	1	
8	西川町		H24.4策定	生涯学習推進本部会議			
9	朝日町	「生涯教育・学習の町あさひ」宣言(H5)	H25.3策定	教育研究所	3	1	
10	大江町		-		2	1	
11	村山市		H27.3策定		7	2	
12	東根市		H26.4策定		9	5	
13	尾花沢市		-	尾花沢市すこやかネット花笠推進協議会	6	3	
14	大石田町		H26.4改定	生涯学習主任会議	3	1	
村山計					63	24	0
15	新庄市		H26.4策定	新庄市青少年育成市民会議	6	4	1
16	金山町		H29.3策定	学社融合推進委員会	3	1	
17	最上町		H26.3策定		5	1	
18	舟形町		H26.4策定	学社連携推進委員会	1	1	
19	真室川町		H29.5策定	学社融合推進研究会	3	1	
20	大蔵村		H25.1策定	学社融合協議会	1	1	
21	鮭川村		H23.4策定	鮭川村青少年育成村民の会	1	1	
22	戸沢村		H27.4策定	地域と学校づくり推進会議	1	1	
最上計					21	11	1
23	米沢市		H27.3策定	米沢市小中学校生涯学習教諭 ・コミュニティセンター等主事合同研修会	18	8	
24	南陽市		-		7	3	
25	高島町		H31.3予定				
26	川西町	川西町生涯学習まちづくり宣言(H11)	H29.4策定	生涯学習担当者会	8	1	
27	長井市		H27.4策定		6	2	
28	小国町		H31.3予定	地域教育力・体験活動推進協議会	2	2	
29	白鷹町		-		4	1	
30	飯豊町		H27.3策定		4	1	
置賜計					49	18	0
31	鶴岡市		H27.3策定		26	11	
32	庄内町		H26.3改定	教育研修所	5	2	
33	三川町		H29.4改定		3	1	
34	酒田市		H28.3改定		22	8	
35	遊佐町		H27.3策定	学校・社教・まちづくり協議会連絡協議会	5	1	
庄内計					61	23	0
合計					194	76	1

(10) 文部科学大臣表彰一覧 (過去5ヵ年)

年度	優良公民館表彰	優良PTA表彰	社会教育功労者表彰	視聴覚教育功労者表彰
	子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)表彰		優れた「地域による学校支援活動」表彰 「地域学校協働活動」表彰	
	生活習慣・家庭教育に係る表彰		障害者の生涯学習支援活動に係る表彰	
平成 25年度	天童市立千布公民館 上山市中川地区公民館	尾花沢小(尾花沢市) 明安小(金山町) 長井工業高	東山 昭子(鶴岡市) 横 貞男(寒河江市)	名木野 功(尾花沢市)
	明治小(山形市) 遊佐小(遊佐町) 山形東高 村山市立図書館 いっちゃん会(寒河江市)		もがみサポート塾(最上町) 和田地区学校支援地域本部(高島町) 西川町放課後子ども教室(西川町)	
平成 26年度	該当なし	東郷小(三川町) 葉山中(村山市) 山形北高	金澤 和子(山形市)	土谷 義幸(村山市)
	日新小(新庄市) 大山小(鶴岡市) 鶴岡南高山添校 遊佐町立図書館 しんちゃんおはなし会(南陽市)		わんぱく富本塾(村山市) 少年少女書道教室(大江町) おおぞら教室(鶴岡市)	
	優れた「早寝早起き朝ごはん」運動表彰 「方言活用家庭教育訓を用いた『早寝早起き朝ごはん』運動」戸沢小(村山市)			
平成 27年度	村山市戸沢地域市民 センター【優秀館】 庄内町余目第二公民館	戸沢小(村山市) 米沢四中(米沢市) 新庄神室産業高	該当なし	渡部 俊一(南陽市)
	長瀬小(東根市) 高島小(高島町) 寒河江工業高 上山市立図書館 ボランティアグループトライあぐる(小国町)		そでさき元気っ子(村山市) 玉庭地区学校支援地域本部(川西町) 戸沢小学校放課後子ども教室(戸沢村)	
平成 28年度	東根市長瀬公民館 (東根市)	遊佐小(遊佐町) 東根一中(東根市) 酒田光陵高	鈴木 正司(尾花沢市)	大沼 廣志(村山市)
	寒河江中部小(寒河江市) 舟形小(舟形町) 山辺高 ひまわりサークル(河北町)		おぐに放課後子ども教室「めっちゃ」(小国町) 高崎地区アフタースクール(東根市)	
	優れた「早寝早起き朝ごはん」運動表彰 「山五十川走ろう会活動」山五十川走ろう会(鶴岡市) 「『早寝・早起き・家族で朝ごはん』運動」玉庭小学校運営協議会(川西町)			
平成 29年度	高島町二井宿地区公民館 (高島町) 村山市西郷地区市民セン ター(村山市)	荒谷小(天童市) 高瀬小(遊佐町) 山形中央高	熊澤義也(天童市) 沼野 慈(新庄市)	該当なし
	山口小学校(天童市) 朝陽第三小学校(鶴岡市) 私立山形電波工業高 天童市立図書館 おはなし会 ムーミンママクラブ(寒河江市)		吉島小学校支援地域本部(川西町) かみのやま寺子屋(上山市)	
	「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る表彰 「地域子育て支援事業」NPO法人にこっと			尾花沢市身体障害福祉協会(障害 者スポーツ・レクリエーション)

※平成24～27年度優れた「地域による学校支援活動」表彰、平成28～29年度「地域学校協働活動」表彰